

平成28年

消防年報



白銀坂〔国指定史跡〕



鹿児島県 始良市消防本部

平成29年刊行

表紙の説明【白銀坂】

白銀坂は、鹿児島県始良市脇元から鹿児島市宮之浦町までの石畳の残る旧街道です。この旧街道が通る山並みは、古代における薩摩国(鹿児島市側)と大隅国(始良市側)の国境でした。

また、戦国時代には、島津貴久や島津義弘などの武将たちがこの坂に陣を構えたといわれています。江戸時代に入ると、白銀坂は鹿児島藩の主要街道である。

「大口筋」として整備され、藩内随一の難所として人々に知られていました。「大口筋」とは、鹿児島城下から重富―帖佐―加治木―横川―大口―「亀坂峠」(熊本県)まで、全長約70kmの街道を指します。『鹿児島県史』によれば、江戸時代には「大口筋」の他に「出水筋」・「高岡筋」の街道があり、「これらにより、大阪・江戸へ連絡するには、通常、出水筋・大口筋では豊前小倉に、高岡筋では日向(宮崎)細島に出て、ともにそれより海路を取る」とあります。

所在地:鹿児島県始良市脇元 3091

始良市民憲章

わが始良市は、鹿児島県の中央に位置し、風光明媚な環境に恵まれ、悠久の歴史を刻みつつ、さらに躍動するまちを目指しています。

わたしたちは、先人の郷土愛を受け継ぎ、始良市民であることに誇りと自覚を持ち、平和な魅力あるまちをつくるため、ここに市民憲章を定めます。

- 一 わたしたち始良市民は、決まりを守り、安全で安心な住みよいまちをつくります。
- 一 わたしたち始良市民は、ともに支え合い、思いやりのあるまちをつくります。
- 一 わたしたち始良市民は、健やかな心身を培い、生きがいを育むまちをつくります。
- 一 わたしたち始良市民は、学ぶ喜びを分かち合い、豊かな教育と文化のまちをつくります。
- 一 わたしたち始良市民は、明るく健全な子どもたちを育み、活力あるまちをつくります。

平成 23 年 4 月 24 日制定



「ア」の文字と、無限(∞)をモチーフとして、未来へとダイナミックに大空を翔る鳥の姿を図案化。互いに結び合いながら、無限(∞)を織りなす3つのラインは、3町を表すとともに、新市のまちづくりの基本理念である「～みんなでふれあいはぐくむまち～」、新市の「限りない可能性」、「恒久的発展性」をシンボライズ。

は し が き

この年報は、始良市消防本部の現勢と平成28年度中における消防業務に関する諸般の事項を収録し、将来の参考とするとともに、消防事情を広く一般に紹介するために編集したものです。

なお、この年報の統計資料は、原則として暦年をもって表し、予算に関係のある事項については会計年度で、それ以外のものについては当該表にそれぞれ記載した年月日をもって表してあります。

平成29年9月

始良市消防本部

目 次

I 総 括

◆ 一目統計	1
1 始良市消防本部の位置と地勢	2
2 署・所配置図及び管轄区域	3
3 消防本部・署の沿革	4

II 総 務

1 歴代消防長	8
2 始良市消防本部の組織図	9
3 消防本部・署の事務分掌	10
4 消防庁舎の概要	14
5 職員の配置状況	15
6 職員の学校教養実施状況	16
7 職員の階級別年齢状況	17
8 職員の勤務年数表	18
9 予算の比較	19
10 消防費と人口の比較	19
11 消防費の内訳	19
12 消防職員特殊技能その他資格取得状況	20
13 消防相互応援協定等締結状況	22

III 警 防

1 消防水利	23
2 基準消防力	23
3 隊員及び車両配置一覧表	23
4 特殊機材配置一覧表	24
5 消防車両等の一覧表	25
6 救急車両の一覧表	26

IV 火 災

1 火災の発生状況	27
2 火災概要	27
3 焼損状況	27
4 火災発生状況	28
5 死傷者・り災世帯数	29
6 過去5か年の火災発生件数及び損害額	29
7 原因別出火件数	30
8 地域別火災発生状況及び損害額	31
9 時間別火災発生状況	31
10 月別火災発生状況	31
11 月別管内合計	32
12 火災・救急・救助以外の出動状況	33

V 救急・救助

1	救急隊別出場件数	34
2	救急隊別搬送人員	34
3	救急隊別不搬送件数	34
4	曜日別事故種別救急活動状況	35
5	月別事故種別救急活動状況	35
6	事故種別出場比率表	36
7	覚知別出場比率表	36
8	管内・管外別搬送人員	37
9	発生場所別搬送人員	37
10	時間別救急出場件数	38
11	事故種別・医療機関別搬送人員	39
12	年齢区分別事故種別搬送人員	40
13	傷病程度性別事故種別搬送人員	40
14	救急隊員の行った応急処置件数	41
15	現場到着所要時間別出場件数	43
16	収容所要時間別搬送人員	43
17	事故種別・年齢区分別・傷病程度別搬送人員	44
18	過去5か年の出場状況	45
19	出場先別出場件数	45
20	出場先別搬送人員	46
21	出場先別不搬送件数	46
22	管内病院等情報	47
23	鹿児島県ドクターヘリ	49
24	始良市救急医療情報キット「始救あんしんキット」	50
25	「始救あんしん携帯カード」	51
26	自動体外式除細動器（AED）設置協力事業所	52
27	救助活動状況	53
28	事故種別発生場所出動件数	53

VI 予 防

1	防火対象物現況	54
2	階層別防火対象物棟数	55
3	予防査察実施状況	56
4	危険物施設の数量及び類別状況	57
5	危険物関係施設の査察実施状況	58
6	各種届出処理状況	58
7	防火訓練等実施回数	59
8	消防クラブ結成状況	60

VII 消防団

1	消防団現勢	61
2	年齢別消防団員数（実員）	61
3	在籍年数別消防団員数（実員）	61

4	消防団員の費用弁償	61
5	団員等年報酬状況（年）	61
6	消防団幹部一覧表	62
7	消防団の人員機械配置一覧表	63
8	消防団車両の一覧表	64

VIII 通信・気象

1	消防緊急通信指令施設構成図	66
2	消防無線配置状況	67
3	119番受信状況	68
4	119番覚知別受信状況	69
5	気象状況	70
6	病院問合せ	71

IX 付 録

1	組合設立までのあらまし	73
2	消防本部・署の沿革（始良郡西部消防組合消防本部）	73
3	九州地方（熊本・大分県）地震緊急消防援助隊活動記録	79

I 總 括

◆ 一目統計

(平成29年4月1日現在)

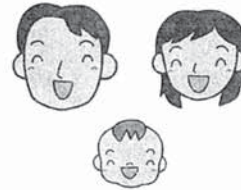
自然環境
人口・世帯



管内面積
231.25km²



気象
年間平均気温 18.2℃
年間降雨量 3,254.5mm



人口
76,534人



世帯数
35,535世帯

消防予算
構成・人事



消防予算
1,254,205千円



署所
消防本部 1
署 1
分遣所 2



職員数
定数 100人
実数 97人



消防団員数等
分団数 15分団
定数 541人
実数 487人

機械・施設



消防自動車等
水槽付消防ポンプ車 4台
小型ポンプ付積載車 4台



特殊車両等
救助工作車 1台
その他車両 6台



救急自動車等
高規格救急自動車 4台
救急自動車 1台



消防水利
消火栓 1,127基
防火水槽 211基

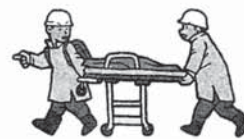
火救救 災急助



火災件数 27件
死者 1人
負傷者 1人
損害額 77,342 (千円)



出火原因
1位 こんろ
2位 煙突・煙道
3位 配線器具



救急出場
出場件数 3,504件
搬送人数 3,341人



救助出動
出動件数 36件
活動件数 35件

予 防



防火対象物数
2,114件



危険物施設数
貯蔵所 99件
取扱所 72件



防火対象物定期点検
報告制度
特例認定事業所 15件
定期点検報告事業所 55件



防火クラブ
幼年消防 8団体
少年消防 2団体

1 始良市消防本部の位置と地勢

始良市は、薩摩半島と大隅半島の分岐点、鹿児島県本土のほぼ中央に位置し、南は県都鹿児島市、西に薩摩川内市、東に霧島市と隣接しています。

東経 130 度 37 分、北緯 31 度 43 分に位置し、東西 23.7km、南北 24km に広がり、面積は 231.25km² で、鹿児島県総面積の 2.5% を占めています。

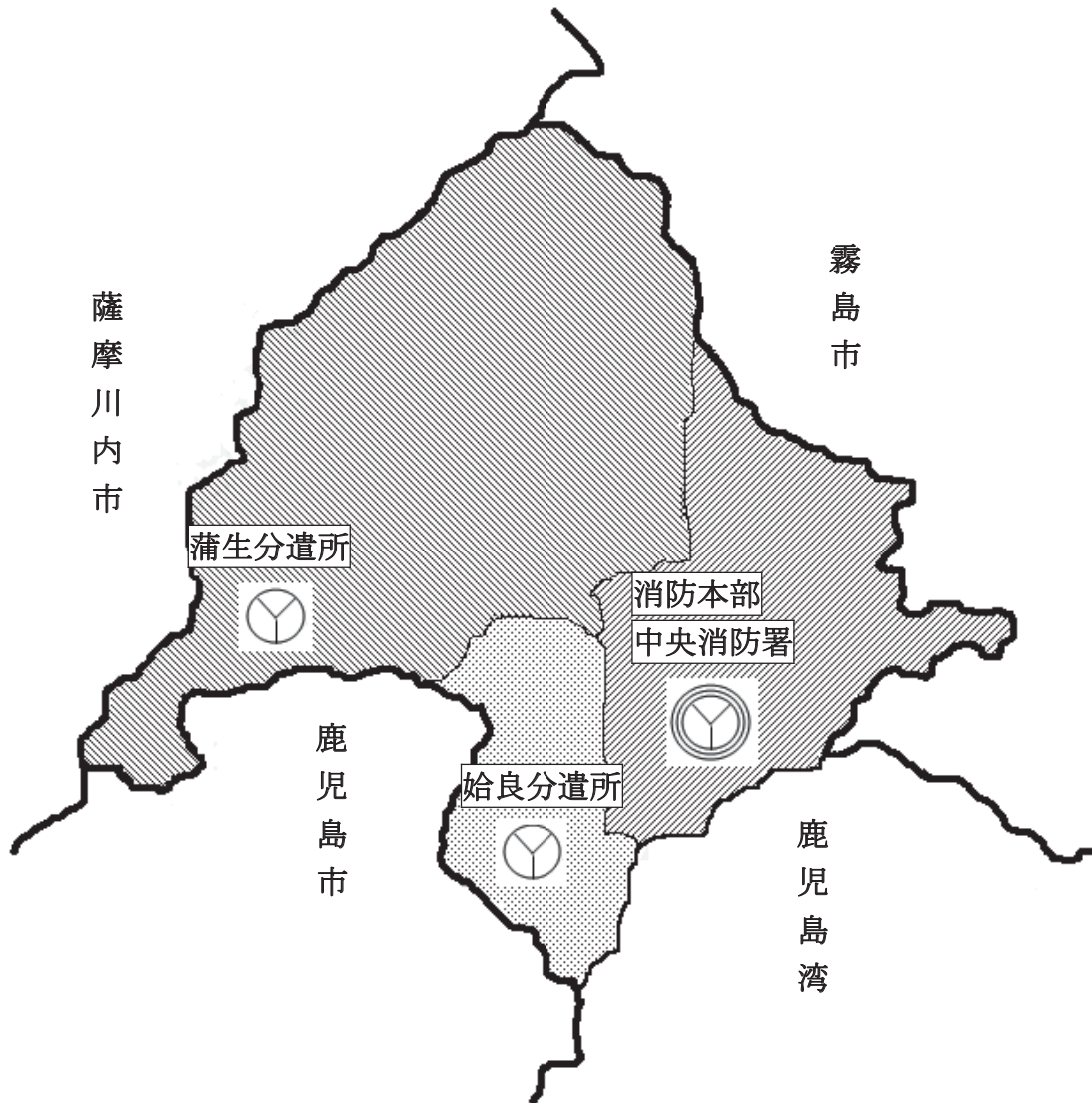
古い歴史と文化に育まれた始良市の指定文化財は県下で一番多く、伝統芸能や文化遺産などの文化財が数多く残されています。

また、樹齢約 1,500 年と推定される日本一の巨樹「蒲生の大クス」で有名な「蒲生八幡神社」、日露戦争に従軍した人の帰還を記念して建てられた希少で珍しい石造りの「山田の凱旋門」、日本の滝百選に選ばれている「龍門滝」など歴史あふれる名所や豊かな自然に恵まれています。

消防本部の位置 東経 130° 38′ 北緯 31° 44′



消防本部管内地図



3 消防本部・署の沿革

年 月 日	概 要
平成22年 3月23日	始良市が誕生し、始良市消防本部発足 初代消防長に宮原千年就任
平成22年 3月31日	消防吏員3人定年退職、2人普通退職
平成22年 4月 1日	市長部局より2人出向 消防吏員5人採用し、実人員89人
平成22年 5月 6日	救急救命士資格取得1人（計12人）
平成22年10月 8日	平成22年度緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（薩摩川内市）
平成23年 1月 8日	始良市消防出初式（加治木運動場）
平成23年 3月16日	高規格救急自動車更新（中央消防署に配備）
平成23年 3月14日 ～ 3月23日	平成23年3月11日14時46分に発生した東日本大震災「東北地方太平洋沖地震」における災害対応に、緊急消防援助隊鹿児島県隊として総務省消防庁長官から派遣要請を受け、延べ9人出場 （派遣先：宮城県石巻市）
平成23年 3月31日	初代消防長宮原千年退任
平成23年 4月 1日	第2代消防長に黒木俊己就任 市長部局へ1人出向、市長部局より1人出向 消防吏員2人採用（救急救命士）、実人員89人 救急救命士資格取得者2人（計14人）
平成23年 4月25日	救急救命士資格取得1人（計15人）
平成23年12月26日	鹿児島県ドクターヘリ運航開始
平成24年 1月15日	始良市消防出初式（始良市始良公民館）
平成24年 3月31日	消防吏員3人定年退職
平成24年 4月 1日	消防吏員4人採用し、実人員90人
平成24年 5月 1日	救急救命士資格取得2人（計17人）
平成24年 6月13日	救急救命士資格取得1人（計18人）
平成24年 6月15日	消防救急無線電波伝搬調査及び基本設計業務委託の契約締結
平成24年 7月14日	消防吏員1人死亡退職、実人員89人
平成24年10月 1日	消防吏員1人採用し、実人員90人
平成24年11月21日	消防庁舎建設に伴う隣接地土地家屋取得
平成24年12月 5日	高規格救急自動車更新（蒲生分遣所に配備）
平成25年 1月 6日	始良市消防出初式（始良市蒲生中学校グラウンド）
平成25年 3月31日	消防吏員2人定年退職
平成25年 4月 1日	市長部局総務部へ3人出向、市長部局より2人出向 消防吏員3人採用し、実人員90人
平成25年 4月22日	救急救命士資格取得1人（計19人）

平成25年	5月16日	消防緊急通信システム等移設設置業務委託の契約締結
平成25年	5月31日	始良市消防庁舎設計業務委託の契約締結 始良市消防庁舎地質調査業務委託の契約締結 始良市消防庁舎土地地質更正測量業務委託の契約締結
平成25年	6月6日	消防通信システムデジタル化実施設計業務委託の契約締結
平成25年	7月11日	始良市消防本部中央消防署仮庁舎改修工事の契約締結
平成25年	8月27日	始良市消防本部庁舎アスベスト除去工事の契約締結 始良市消防本部庁舎解体工事の契約締結
平成25年	9月1日	消防本部、通信指令室(あいらくリーンセンター)・中央消防署(旧庁舎敷地内北側事務所)仮庁舎移転作業開始
平成25年	11月25日	消防団120周年・自治体消防65周年記念大会
平成26年	1月5日	始良市消防出初式(加治木運動場)
平成26年	1月28日	始良市消防本部庁舎杭引抜工事の契約締結
平成26年	2月24日	※参考:始良警察署(始良地区安全運転管理協議会事務局)移転業務開始
平成26年	3月31日	第2代消防長黒木俊己退任 消防吏員2人定年退職
平成26年	4月1日	第3代消防長に岩爪隆就任(市長部局総務部より出向) 市長部局総務部へ2人出向 消防吏員4人採用(うち救急救命士1人)し、実人員90人
平成26年	4月9日	救急救命士資格取得1人(計20人)
平成26年	4月21日	救急救命士資格取得2人(計22人)
平成26年	5月26日	始良市消防本部庁舎監理業務委託の契約締結 始良市消防本部庁舎新築工事の契約締結 始良市消防本部庁舎新築電気設備工事の契約締結 始良市消防本部庁舎新築空調設備工事の契約締結 始良市消防本部庁舎新築給排水衛生設備工事の契約締結
平成26年	6月12日	消防本部へ軽自動車新規配備
平成26年	6月17日	新庁舎建設地にて安全祈願祭を挙行
平成26年	7月10日	始良市消防本部外構工事の契約締結
平成26年	7月11日	消防通信システムデジタル化整備工事の契約締結
平成26年	7月17日	始良市消防本部国道試掘業務委託の契約締結
平成26年	7月18日	消防通信システムデジタル化施工管理業務委託の契約締結
平成26年	8月19日	始良市消防本部庁舎自家用発電設備工事の契約締結 始良市消防本部庁舎昇降機設備工事の契約締結
平成26年	11月21日	始良市消防本部乗り入れ口拡幅工事の契約締結
平成26年	11月22日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練(福岡県久留米市)
平成27年	1月6日	始良市消防出初式(加治木運動場)
平成27年	3月10日	水槽付消防ポンプ自動車更新(蒲生分遣所に配備)

平成27年	3月16日	消防通信システムデジタル化整備完成
平成27年	3月20日	始良市消防本部新庁舎完成
平成27年	3月26日	移動式圧縮充填装置購入（中央消防署に設置）
平成27年	3月28日 ～ 29日	消防本部・通信指令室（あいらくリークセンター）・中央消防署（旧 庁舎敷地内北側事務所）仮庁舎より移転作業開始
平成27年	3月31日	消防吏員5人定年退職
平成27年	4月 1日	始良市消防本部新庁舎開庁式、業務開始 消防救急デジタル無線・消防通信指令システム等運用開始 職員定数条例を改正、消防職員90人から100人とする。 市長部局総務部へ2人出向、市長部局より2人出向 消防吏員7人採用（うち女性2人、救急救命士3人）実人員92人
平成27年	4月 8日	救急救命士資格取得1人（計23人）
平成27年	4月20日	救急救命士資格取得2人（計25人）
平成27年	4月27日	始良市消防本部中央消防署仮庁舎解体工事の契約締結
平成27年	5月 7日	救急救命士資格取得2人（計27人）
平成27年	5月16日	消防吏員1人死亡退職、実人員91人
平成27年	6月 4日	消防吏員1人死亡退職、実人員90人
平成27年	7月14日	始良市消防本部訓練塔監理業務委託の契約締結 始良市消防本部訓練塔新築工事の契約締結 始良市消防本部訓練塔新築電気設備工事の契約締結 始良市消防本部訓練塔新築機械設備工事の契約締結
平成27年	9月 9日	始良市消防本部副訓練塔新築工事の契約締結 始良市消防本部副訓練塔新築電気設備工事の契約締結 始良市消防本部副訓練塔新築機械設備工事の契約締結 始良市消防本部外構工事の契約締結
平成27年	10月29日	広報連絡車更新（消防本部）
平成27年	11月 7日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（大分県佐伯市）
平成28年	1月 6日	始良市消防出初式（加治木運動場、加音ホール）
平成28年	3月22日	始良市消防本部訓練塔・副訓練塔完成
平成28年	3月23日	小型ポンプ付積載車更新（始良分遣所に配備）
平成28年	3月31日	消防吏員1人定年退職
平成28年	4月 1日	市長部局建設部へ1人出向、教育委員会事務局より1人出向 消防吏員6人採用し、実人員95人
平成28年	4月16日 ～ 4月25日	平成28年4月14日21時46分に発生した、「平成28年熊本地震」における災害対応に、緊急消防援助隊鹿児島県隊として出場 16日～20日後方支援隊3人、20日～25日救急隊、後方支援隊各1隊6人出場（派遣先：熊本県益城町、美里町、南阿蘇村）
平成28年	5月17日	腕用ポンプ（白男分団より借用）

平成28年11月 5日	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（長崎県島原市）
平成28年 7月19日	救急救命士資格取得1人（計28人）
平成29年 1月 6日	始良市消防出初式（加治木運動場、加音ホール）
平成29年 3月 9日	警防車更新（消防本部）
平成29年 3月23日	水槽付消防ポンプ自動車更新（始良分遣所に配備）
平成29年 3月31日	消防吏員3人定年退職（うち第3代消防長岩爪隆退任） 救急救命士1人退職（計27人）
平成29年 4月 1日	第4代消防長に福ヶ迫勇二就任 市長部局総務部へ2人、建設部へ1人出向、農林水産部より1人、 市民生活部より1人出向 消防吏員6人（うち消防職経験者2人、救急救命士1人）採用し、 実人員97人

※始良郡西部消防組合消防本部・署の沿革については、IX付録（P73～P78）に掲載

Ⅱ 総務

1 歴代消防長

始良郡西部消防組合消防本部



初代 曾木 隆輝
自 昭和46年4月1日
至 昭和47年3月31日



2代 下猶 篤男
自 昭和47年4月1日
至 昭和49年12月31日



3代 坂元 満男
自 昭和50年1月1日
至 昭和53年3月31日



4代 右田 光男
自 昭和53年4月1日
至 昭和58年7月31日



5代 村岡 創造
自 昭和58年8月1日
至 昭和61年12月31日



6代 木場 政昭
自 昭和62年1月1日
至 昭和62年3月31日



7代 迫屋 清治
自 昭和62年4月1日
至 平成2年3月31日



8代 雨乞 信
自 平成2年4月1日
至 平成9年3月31日



9代 猶木 龍美
自 平成9年4月1日
至 平成12年3月31日



10代 森田 峯一
自 平成12年4月1日
至 平成17年3月31日



11代 垂内 猛志
自 平成17年4月1日
至 平成19年10月31日



12代 池山 史郎
自 平成19年11月1日
至 平成21年9月30日

始良市消防本部



13代(初代)宮原 千年
自 平成21年10月1日
至 平成23年3月31日



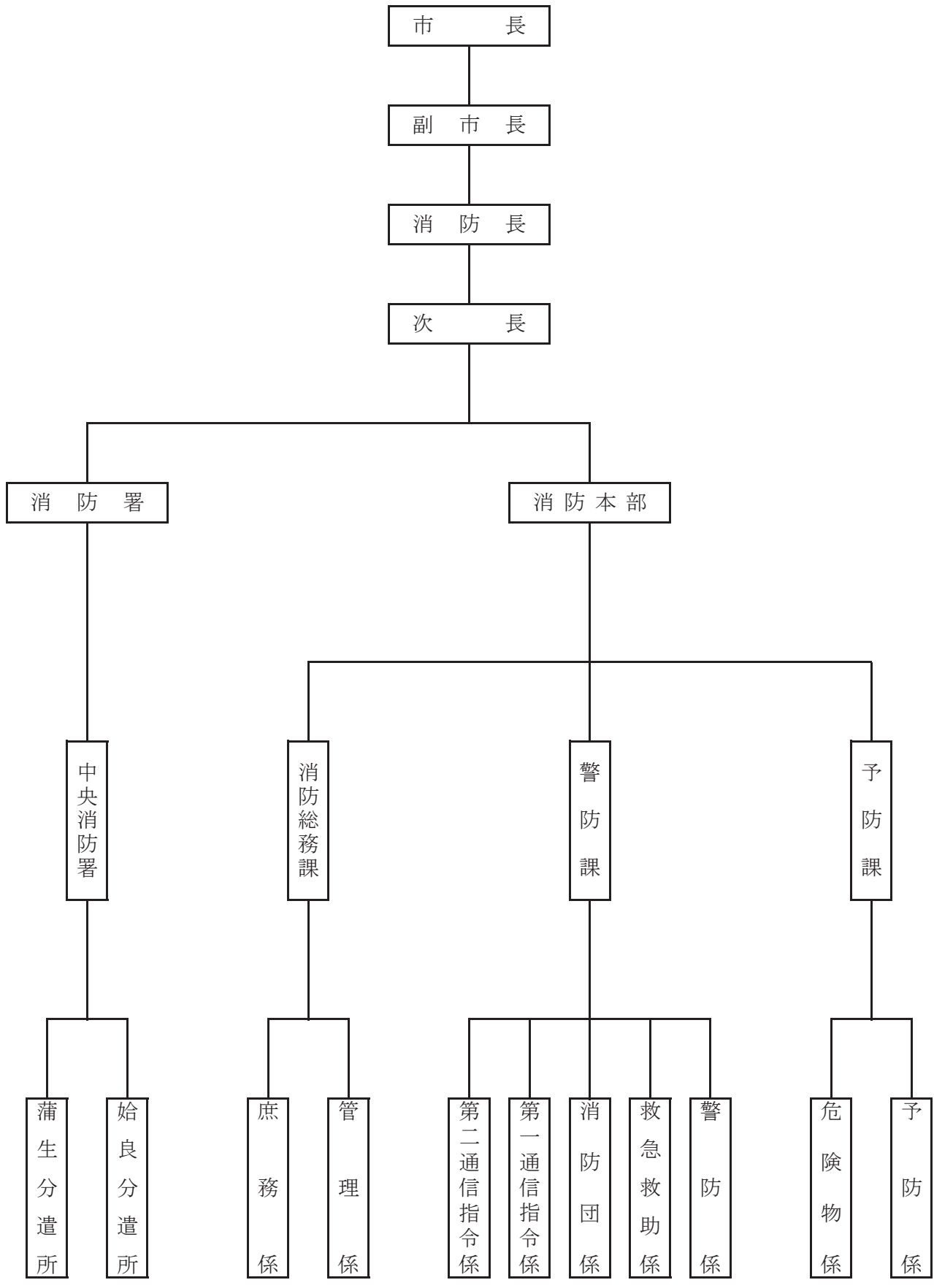
2代 黒木 俊己
自 平成23年4月1日
至 平成26年3月31日



3代 岩爪 隆
自 平成26年4月1日
至 平成29年3月31日

2 始良市消防本部組織図

(平成29年4月1日現在)



3 消防本部・署の事務分掌

■消防本部

消防総務課

庶務係

- (1) 公印の保管及び取扱いに関する事。
- (2) 文書の收受、発送、保存、廃棄に関する事。
- (3) 職員の階級、任命、分限及び懲戒に関する事。
- (4) 職員の勤務状況に関する事。
- (5) 職員の服務に関する事。
- (6) 職員の研修及び教養に関する事。
- (7) 事務分掌に関する事。
- (8) 表彰に関する事。
- (9) 職員の衛生管理に関する事。
- (10) 職員の試験及び選考に関する事。
- (11) 消防職員委員会に関する事。
- (12) 消防協会事務に関する事。
- (13) 消防年報の作成に関する事。
- (14) 部内の他の課、係の所掌に属さない事務に関する事。

管理係

- (1) 職員の被服及び貸与品に関する事。
- (2) 消防手数料の収納に関する事。
- (3) 消防機械器具の維持管理及び運用に関する事。
- (4) 消防自動車等の整備及び修理に関する事。

警防課

警防係

- (1) 各種訓練の計画に関する事。
- (2) 火災の原因調査及び各種災害の損害調査に関する事。
- (3) 火災その他の諸証明書の発行に関する事。
- (4) 水、火災その他の災害の警戒、防ぎよ及び救護に関する事。
- (5) 消防水利及び地理に関する事。
- (6) 水、火災の警防計画に関する事。
- (7) 消防団との連絡、指導に関する事。

- (8) 非常招集に関する事。
- (9) 災害時の統計及び報告に関する事。
- (10) 相互応援協定に関する事。
- (11) 車両等の安全運転管理に関する事。
- (12) 消防用資機材に関する事。
- (13) その他課に属する事務の処理に関する事。

救急救助係

- (1) 救急、救助、潜水に関する事。
- (2) 救急、救助、潜水用資機材に関する事。
- (3) 統計、調査及び報告に関する事。
- (4) 救急、救助、潜水隊員の教育訓練に関する事。
- (5) 応急手当の普及啓発活動に関する事。
- (6) 救急、救助、潜水の広報に関する事。
- (7) 医師会及び医療機関等との連絡調整に関する事。
- (8) メディカルコントロール協議会に関する事。
- (9) その他救急、救助、潜水に関する事。

消防団係

- (1) 消防団の組織に関する事。
- (2) 消防団員等の公務災害補償及び退職報奨金に関する事。
- (3) 消防団員の任免及び表彰に関する事。
- (4) 消防団員の報酬及び費用弁償に関する事。
- (5) 消防団員の会議に関する事。
- (6) 消防団員の研修、教養及び訓練に関する事。
- (7) 消防団員の被服及び貸与品に関する事。
- (8) 消防団員の備品に関する事。
- (9) 消防団の車庫及び施設の維持管理に関する事。
- (10) 消防団の消防自動車等の管理業務に関する事。
- (11) 消防協会事務に関する事。
- (12) 消防後援会に関する事。
- (13) その他消防団に関する事。

第一通信指令係・第二通信指令係

- (1) 水、火災その他の災害及び救急救助業務に関する受報及び令に関する事。
- (2) 消防隊の統制的指揮運用及び応援要請に関する事。

- (3) 電話交換業務に関すること。
- (4) 消防通信の計画・配置・運用及び改善並びに消防通信施設の維持管理に関すること。
- (5) 消防無線の運用に関すること。
- (6) 通信係員の通信技術の訓練及び指導に関すること。
- (7) 気象情報及び警報発令に関すること。
- (8) 無線業務日誌に関すること。
- (9) 各種警報、情報及び非常招集の伝達に関すること。
- (10) 通信業務のデータの管理に関すること。
- (11) その他通信指令業務に関すること。

予防課

予防係

- (1) 防火管理者の育成及び指導に関すること。
- (2) 火災予防査察に関すること。
- (3) 建築同意に関すること。
- (4) 消防用設備等に係る指導及び検査に関すること。
- (5) 防火対象物の表示等に関すること。
- (6) 広報活動及び火災予防運動に関すること。
- (7) 消防協力団体の育成及び指導に関すること。
- (8) その他課に属する事務の処理に関すること。

危険物係

- (1) 危険物施設の許認可及び検査並びに指導に関すること。
- (2) 自主防火組織の育成指導及び連絡調整に関すること。
- (3) 液化石油ガス及び高圧ガスの保安指導に関すること。
- (4) 液化石油ガス販売事業の意見書に関すること。
- (5) 危険物安全協会の育成及び指導に関すること。
- (6) その他危険物に関すること。
- (7) 火薬類取締法（昭和 25 年法律第 149 号）第 25 条第 1 項の規定に基づく火薬類（煙火に限る。）の消費の許可に関すること。

■ 消防署

庶務係

- (1) 備品の使用管理に関すること。
- (2) 物品の取扱いに関すること。

(3) 公印の保管及び取扱いに関する事。

(4) その他庶務係に関する事。

予防係

(1) 火災予防に関する事。

(2) 危険物の指導取締りに関する事。

(3) 各種届出の受理及びこれらに係る警戒に関する事。

(4) 予防査察に関する事。

(5) 防火管理に関する事。

(6) 防火思想の普及宣伝に関する事。

(7) 幼年、少年消防クラブ及び婦人防火クラブ等の自主防災組織の指導育成に関する事。

(8) その他予防係に関する事。

警防係

(1) 火災予防、警戒及び防ぎよ並びにこれらに必要な処置に関する事。

(2) 水防業務に関する事。

(3) 消防の特別警戒に関する事。

(4) 地理及び水利の調査に関する事。

(5) 通信施設整備の保全、管理及び運用に関する事。

(6) 火災その他の災害の調査に関する事。

(7) 火災報告及び統計に関する事。

(8) 消防団との連携及び指導に関する事。

(9) 各種訓練に関する事。

(10) その他警防係に関する事。

救急・救助係

(1) 救急、救助及び潜水に関する事。

(2) 救急、救助及び潜水用資機材に関する事。

(3) 統計調査及び報告に関する事。

(4) 救急及び救助隊員の教育訓練に関する事。

(5) 応急手当の普及及び啓発運動に関する事。

(6) メディカルコントロール協議会に関する事。

(7) その他救急、救助及び潜水に関する事。

機械係

(1) 消防用機材の整備及び保管に関する事。

(2) 機械関係の教養及び訓練に関する事。

4 消防庁舎の概要

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

区分 名称	所在地	敷地面積	主要建物の構造	延面積	完成年月
消防本部 (通信指令室含む) 中央消防署	始良市加治木町 木田 2040 番地 1	3,942.46 m ²	鉄筋コンクリート造 4 階建	2530.91 m ²	H 27. 3
訓練塔			鉄筋コンクリート造 5 階建	396.00 m ²	H 28. 3
副訓練塔 1			鉄骨造 3 階建	575.88 m ²	
副訓練塔 2			鉄骨造 3 階建	57.87 m ²	
始良分遣所 (補助訓練塔)	始良市平松 2964 番地 6	2,845.58 m ²	鉄筋コンクリート造 平屋建 (鉄骨造)	386.74 m ² (27.04 m ²)	H 10. 3
訓練塔			鉄骨造 4 階建	103.81 m ²	
蒲生分遣所	始良市蒲生町白男 1948 番地 1	2,993.09 m ²	鉄筋コンクリート造 平屋建	286.83 m ²	H 13. 3
訓練塔			鉄骨造 3 階建	120.00 m ²	

5 職員の配置状況

(平成29年4月1日現在) (単位：人)

階級別		計	消 防 司令長	消 防 司令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	事 務 員
区分									
消 防 本 部	消 防 長	1	1						
	次 長	1							1
	消 防 総 務 課	7		1	1			4	1
	警 防 課	5		3		1			1
	(通信指令室)	11		1	2	3	3	2	
	予 防 課	3		2	1				
	小 計	28	1	7	4	4	3	6	3
中央消防署		33		4	6	7	7	9	
始良分遣所		18		2	2	6	4	4	
蒲生分遣所		18		2	3	4	3	6	
小 計		69		8	11	17	14	19	
合 計		97	1	15	15	21	17	25	3

※ 次長は、消防総務課長と兼務

※ 消防総務課は、初任教育入校4人含む

6 職員の学校教養実施状況

(1) 消防大学校等

(平成29年4月1日現在)

(単位：人)

階級別 区分		計	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	事 務 員
総 職 員 数		97	1	15	15	21	17	25	3
幹 部 研 修 科									
警 防 科									
予 防 科		3		3					
救 助 科		2		2					
火 災 調 査 科		1		1					
研 救 急 修 救 所 命	東 京	3				3			
	九 州	16		3	8	5			
	指 導 救 急 救 命 士 養 成 研 修	1			1				
	処 置 拡 大 に 係 る 追 加 講 習	4		2	2				
九 州 地 区 警 防 実 務 研 修		4	1	3					
九 州 地 区 予 防 実 務 研 修		4		2	2				

(1) 鹿児島県消防学校

(平成29年4月1日現在)

(単位：人)

階級別 区分		計	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	事 務 員
総 職 員 数		97	1	15	15	21	17	25	3
初 任 教 育		90	1	15	15	21	17	21	
救 急 I 課 程		14	1	13					
救 急 II 課 程		6	1	5					
救 急 標 準 課 程		16		7	9				
救 急 科		34		1	6	21	6		
予 防 科									
予 防 査 察 科		14		10	3	1			
警 防 科		2		1	1				
救 助 科		13	1	7	2	3			
初 級 幹 部 科		10		7	3				
中 級 幹 部 科		4	1	3					
火 災 調 査 科		7		3	4				
無 線 科		48	1	14	15	18			
救 急 救 命 士 処 置 拡 大 に 係 る 追 加 講 習		5		1	4				

7 職員の階級別年齢状況

(平成29年4月1日現在) (単位：人)

年齢	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	事務吏員	総数	5	10
18歳						3		3	■	
19歳						2		2	■	
20歳						3		3	■	
21歳						1		1	■	
22歳						1		1	■	
23歳						5		5	■	
24歳						5		5	■	
25歳						3		3	■	
26歳					1	1		2	■	
27歳					7			7	■	
28歳					1	1		2	■	
29歳					3			3	■	
30歳				1	3			4	■	
31歳					1		1	2	■	
32歳				1	1			2	■	
33歳				4				4	■	
34歳										
35歳				1				1	■	
36歳				1				1	■	
37歳				1				1	■	
38歳				3				3	■	
39歳				3				3	■	
40歳			1					1	■	
41歳			6	5				11	■	
42歳			3	1				4	■	
43歳			3					3	■	
44歳		1	2				1	4	■	
45歳		2						2	■	
46歳		5						5	■	
47歳										
48歳		1						1	■	
49歳		1						1	■	
50歳										
51歳										
52歳										
53歳										
54歳										
55歳										
56歳		1						1	■	
57歳		2						2	■	
58歳	1	1					1	3	■	
59歳		1						1	■	
総数	1	15	15	21	17	25	3	97		

8 職員の勤務年数表

(平成29年4月1日現在) (単位：人)

年齢	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	事務吏員	総数	5	10	15
0年					1	5	2	8	■		
1年						6		6	■		
2年						7	1	8	■		
3年						4		4	■		
4年					3	1		4	■		
5年					2	2		4	■		
6年					2			2	■		
7年					5			5	■		
8年					2			2	■		
9年				1	2			3	■		
10年				2				2	■		
11年											
12年											
13年											
14年				2				2	■		
15年				1				1	■		
16年											
17年				2				2	■		
18年											
19年				2				2	■		
20年			5	5				10	■		
21年			1					1	■		
22年			2	1				3	■		
23年		4	6	5				15	■		
24年		3	1					4	■		
25年											
26年											
27年		1						1	■		
28年											
29年											
30年		2						2	■		
31年											
32年											
33年											
34年											
35年											
36年											
37年											
38年		2						2	■		
39年	1	3						4	■		
40年											
41年											
総数	1	15	15	21	17	25	3	97			

9 予算の比較

(平成29年4月1日現在) (単位:千円)

年次	市一般会計予算	消 防 費	一般会計予算に対する割合(%)
平成29年度	28,729,000	1,254,205 (864,629)	4.4 (3.0)

※ 括弧内については、消防本部所管分

10 消防費と人口の比較

(平成29年4月1日現在) (単位:円)

区 分	消 防 費	1世帯当たり	1人あたり
予 算 額	1,254,205,000 (864,629,000)	35,295 (24,332)	16,388 (11,297)

※ 括弧内については、消防本部所管分

11 消防費の内訳

(平成29年4月1日現在) (単位:円)

区 分		平成29年度当初予算額
消 防 本 部 所 管 分	常 備 消 防 費	732,994
	人 件 費	650,737
	報 酬	22
	報 償 費	329
	旅 費	4,545
	需 用 費	24,297
	役 務 費	6,939
	委 託 料	24,516
	使 用 料 及 び 賃 借 料	3,171
	工 事 請 負 費	1,600
	原 材 料 費	50
	備 品 購 入 費	9,150
	負 担 金、補 助 及 び 交 付 金	7,291
	補 償、補 填 及 び 賠 償 金	-
	公 課 費	347
非 常 備 消 防 費	83,337	
消 防 施 設 費	48,298	
計	864,629	
水 防 費 (建 設 部 土 木 課 所 管 分)		2,846
災 害 対 策 費 (総 務 部 危 機 管 理 課 所 管 分)		386,730
合 計		1,254,205

12 消防職員特殊技能その他資格取得状況

(平成29年4月1日現在)

(単位：人)

免許種別		階級別		合 計	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 員
自 動 車 運 転 免 許	一 種	大 型		70	1	14	15	18	15	7	
		中 型		15				8	3	1	3
		準 中 型									
		普 通		97	1	15	15	21	17	25	3
	二 種	大 型		1			1				
	自動二輪	普 通		26		8	4	5	3	5	1
		大 型		14	1	2	1	7	3		
	大 型 特 殊 引			7		2	1	3	1		
引			4		2		2				
消 防 設 備 士	甲 種	第 1 類									
		第 4 類									
		第 5 類									
	乙 種	第 1 類		1				1			
		第 4 類		1					1		
		第 5 類									
		第 6 類		8		2	1	2	3		
		第 7 類		1					1		
危 険 物 取 扱 者	乙 種	第 1 類		6			1	1	1	3	
		第 2 類		4					1	3	
		第 3 類		6			1	1	1	3	
		第 4 類		66		7	14	20	15	10	
		第 5 類		4					1	3	
		第 6 類		7		1	1	1	1	3	
	丙 種		8		3	1	3	1			
予 防 技 術 検 定	危 険 物		11			4	2	2	3		
	防 火 査 察		24	1	10	4	5	4			
	消 防 設 備		5		4		1				
救 急 救 命 士		26		3	8	8	3	4			
認 定 救 急 救 命 士	気 管 挿 管		23		3	8	8	3	1		
	薬 剤 投 与		26		3	8	8	3	4		
	指 導 救 命 士		2		1	1					
	処 置 拡 大		11		3	7	1				
応 急 手 当 指 導 員		54	1	13	15	19	5	1			
衛 生 管 理 者 (第 1 種)		1		1							
特 定 化 学 物 質 及 び 四 ア ル キ ル 鉛 等 作 業 主 任 技 能		24		6	9	9					
酸 素 欠 乏 ・ 硫 化 水 素 危 険 物 作 業 主 任 者		21		11	8		1		1		
小 型 移 動 式 ク レ ン 運 転 技 能		49	1	10	12	20	6				
玉 掛 技 能		44		11	11	18	4				
安 全 管 理 者 選 任 時 研 修		11	1	9			1				
高 所 作 業 車 運 転 免 許		3		1		1		1			
フ ォ ー ク リ フ ト 運 転 技 能		1		1							

免許種別	階級別	合 計	消 防	消 防	消 防	消 防	消 防	消防士	事 務 員
			司令長	司令	司令補	士 長	副士長		
車両系建設機械運転技能	整 地	4		1		1	1	1	
	解 体	1					1		
ロ ー プ 高 所 作 業		5		1		1	2	1	
ガ ス 溶 接		47		10	13	20	2	2	
ア ー ク 溶 接		1		1					
テクニカルロープレスキュー		18		4	3	6	4	1	
スイフトウォーターレスキュー		9		4	1	1	2	1	
潜 水 士		34		7	3	10	9	5	
救助・初級潜水士(日本公的機関救助潜水士養成セミナー)		8		5	1	2			
ス キ ュ ー バ ラ イ セ ン ス		8		4	1	3			
小 型 船 舶 操 縦 士		18	1	6	1	7	3		
PWC(ジェットレスキュードライバー)		1		1					
PWC(ジェットレスキューレスキューアー)		1		1					
防 災 士		3		2		1			
防災士(地域防災推進員)ステップアップ課程		1		1					
毒 物 劇 物 取 扱 責 任 者		1						1	
火 薬 取 扱 保 安 責 任 者									
電 気 工 事 士		2				2			
ボ イ ラ ー 技 士		1						1	
小 型 ボ イ ラ ー 取 扱 者		11		2	4	5			
ア マ チ ュ ア 無 線		9		7	1	1			
国 内 B 級 ラ イ セ ン ス		1		1					
特殊無線技士	消防学校入校時取得	48	1	14	15	18			
	第一級海上特殊無線技士								
	第二級海上特殊無線技士	4		1		1	1	1	
	第三級海上特殊無線技士	1		1					
	航空特殊無線技士	2					1	1	
	第一級陸上特殊無線技士								
	第二級陸上特殊無線技士	30		1		3	14	12	
第三級陸上特殊無線技士	2		1					1	
標準多数傷病者医療対応(MCLS)	プロバイダー	3		1	2				
	インストラクター	3		1	2				
外傷患者に対する病院前救護(JPTEC)	プロバイダー	5		2	2			1	
	インストラクター	4		2	2				
医療従事者蘇生トレーニングコース(ICLS)	インストラクター	2		1	1				
車両事故による外傷受傷者救出ITLSアクセスコース	インストラクター	1			1				
エマルゴ机上訓練	プレホスピタル	1			1				
機 械 製 図 検 定		2				2			
ポ ケ コ ン 検 定		3			1	2			
情 報 処 理 検 定		2				2			
計 算 技 術 検 定		1			1				
無 人 航 空 従 事 者 (ドローン)		2		1			1		
救助用ボート	I R B (クルー)	3		1		1		1	
	I R B (ドライバー)	5	1	1			3		

13 消防相互応援協定等締結状況

(平成29年4月1日現在)

協定市町村名称等	協定の内容	締結年月日
鹿児島県	鹿児島県消防・防災ヘリコプター応援協定	平成10年 6月26日
	鹿児島県消防相互応援協定	平成18年10月25日
国土交通省大阪航空局 鹿児島空港事務所	鹿児島空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定	平成22年 3月23日
鹿児島市	鹿児島市と始良市との消防・救急相互応援協定	平成22年 3月23日
	鹿児島市本城町宮前地区及び始良市平松福ヶ野地区の消防相互応援協定に係る覚書	平成23年12月 1日
	九州縦貫自動車道における鹿児島県ドクターヘリの要請事案に伴う支援隊の出動等に係る申し合わせ	平成24年 3月16日
霧島市	霧島市と始良市との消防相互応援協定	平成22年 3月23日
	隼人道路における消防相互応援協定	平成22年 3月23日
薩摩川内市	薩摩川内市と始良市との消防及び救急業務相互応援協定	平成22年 3月23日
高速自動車道 沿線7消防本部	九州縦貫自動車道における消防相互応援協定	平成22年 3月23日
鹿児島県 30市町村	鹿児島県ドクターヘリ運航事業における救急車搬送に関する相互応援協定	平成23年12月22日

III 警 防

警
防

1 消防水利

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

消火栓	防火水槽	現有基数
1, 1 2 7	2 1 1	1 3 3 8

2 基準消防力

■署所の人員

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

区 分		基準台数 (台)	基準台数に対する 人員の基準数 (人)	現有台数 (台)	現有台数に対する 人員の基準数 (人)	現有人員 (人)
署 所		3		3		
消 防 ・ 救 急 隊 員	指 揮 車	1	9	1	9	2
	水槽付消防ポンプ自動車	6	9 0	4	4 5	3 0
	はしご付消防自動車	1	1 6			
	化学消防自動車	1	1 6			
	救助工作自動車	1	1 5	1	1 6	9
	救 急 自 動 車	4	2 7	5	3 0	2 8
	小 計	1 4	1 7 4	1 1	1 0 0	6 9
通 信 員			5		1 5	1 1
予 防 要 員			1 0		1 0	3
そ の 他 の 人 員			1 7		1 7	1 4
合 計			2 1 6		1 4 2	9 7

※ 現有台数の水槽付消防ポンプ自動車 1 台と救急自動車 1 台は、非常用車両を含む。

3 隊員及び車両配置一覧表

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

車両 配置先	水槽付消防 ポンプ自動車 (台)	小型ポンプ付 積載自動車 (台)	救助工作 自動車 (台)	救急自動車 (台)		人 員 (人)
				高規格	2 B	
中央消防署	2	1	1	2	※2 1	3 3
始良分遣所	1	1		1		1 8
蒲生分遣所	1	1		1		1 8
合 計	※1 4	3	1	4	※2 1	6 9

※ 1 水槽付消防ポンプ自動車 1 台は、予備車である。

※ 2 中央消防署の救急自動車 (2 B) は、予備車 (高規格対応型救急自動車) である。

4 特殊機材配置一覧表

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

機材名	配置先	中央消防署	始良分遣所	蒲生分遣所	合 計
空 気 呼 吸 器		19	8	8	35
空 気 予 備 ボ ン ベ		22	11	12	45
ガ ス 検 知 器		2	1	2	5
災 害 用 発 電 機		7	2	2	11
ガ ス 溶 断 器					
ポ ー ト パ ワ ー		1			1
エ ン ジ ン カ ッ タ ー		1	1	2	4
チ ェ ー ン ソ ー		2	1	1	4
耐 熱 服			1	1	2
救 命 索 発 射 銃		4			4
ラ イン ラ ン チ ャ ー		1			1
三 連 は し ご		3	5	3	11
避 難 は し ご		1		1	2
ス ロ ー ダ ン		2			2
空 気 式 救 助 マ ッ ト		1			1
投 光 器		4	4	1	9
チ ル ホ ー ル		2	1	1	4
エ ア ー ジ ャ ッ キ		1			1
ハ イ ジ ャ ッ キ		1			1
シ ョ ッ ク バ ー ル		1			1
ベ ン ケ イ		7	2	2	11
ジ ェ ッ ト シ ュ ー タ ー		4	3	11	18
か ぎ 付 き は し ご		3	2	1	6
レ ス キ ュ ー ツ ー ル		1		1	2
ウ エ ッ ト ス ー ツ		16			16
船 型 タ ン カ		2	1		3
安 全 マ ッ ト		7	7	7	21
張 力 計		1	1		2
潜 水 器 具 一 式		8			8
潜 水 予 備 ボ ン ベ		14			14
陽 圧 式 化 学 防 護 服		4			4
防 毒 マ ス ク		3	3	3	9
防 塵 マ ス ク		7	8	5	20
放 射 線 測 定 器		1		1	2
個 人 線 量 計		5			5
救 命 ボ ー ト		1	1		2
船 外 機		1			1
エ ア ー ソ ー		1			1
削 岩 機		1			1
都 市 型 レ ス キ ュ ー 用 資 機 材 一 式		1			1
エ ア ー テ ン ト		1			1
コ ン プ レ ッ サ ー		1			1

5 消防車両等の一覧表

(平成29年4月1日現在)

車名	配置先	車両番号	無線番号	車種	年式	購入年月日	ポンプ	級別	総重量 (kg)	乗車 人員	長さ (cm)	幅 (cm)	高さ (cm)	備考
広 連 絡 車	本 部	鹿児島 534そ2015		ホンダ	H27	H27.10.29			1,465	5	440	169	154	
広 連 絡 車	本 部	鹿児島 480つ9553		スズキ	H26	H26.6.12			1,340	4	339	147	187	
警 防 車	本 部	鹿児島 800す7720	あいしよ う 警防1	トヨタ	H29	H29.3.9			2,140	7	483	188	212	
査 察 車	本 部	鹿児島 501さ8647		日産	H18	H18.7.20			1,455	5	441	169	149	
指 揮 車	中 央 消 防 署	鹿児島 800す607	あいしよ う 中央指揮1	トヨタ	H19	H19.12.18			3,215	6	538	188	252	
水 槽 付 ポン プ 車	中 央 消 防 署	鹿児島 800は252	あいしよ う 中央1	日野	H13	H13.2.9	日 機	A2	8,970	6	679	228	285	鋼製3連梯子・ラインプロボジョナー 積水2.0t
水 槽 付 ポン プ 車	中 央 消 防 署	鹿児島 800さ753	あいしよ う 中央3	三菱	H11	H11.11.11	森 田	A2	7,435	7	689	221	269	鋼製3連梯子・積水1.5t
救 工 作 車	中 央 消 防 署	鹿児島 830て119	あいしよ う 中央救助1	三菱	H14	H14.2.14			9,490	5	760	222	316	UR-V342G型クレーン特殊機材一覧参照 ラムゼイRE12000Rウィッチ最大直引5t以上
小 型 ポン プ 付 積 載 車	中 央 消 防 署	鹿児島 80あ1382	あいしよ う 中央2	ホンダ	H13	H13.10.19	ト ー ハ ツ	B3	1,170	2	319	139	194	小型ポンプ(トーハツB3)
小 型 ポン プ 付 積 載 車	中 央 消 防 署	鹿児島 80あ1014		ホンダ	H10	H10.3.23	ラ ビ ット	B3	1,160	2	325	139	190	小型ポンプ(ラビットB3) 予備車
資 機 材 搬 送 車	中 央 消 防 署	鹿児島 80さ7954	あいしよ う 支援1	いすゞ	H17	H17.3.25			2,975	6	469	169	213	
水 槽 付 ポン プ 車	始 良 分 遣 所	鹿児島 830ち2017	あいしよ う 始良1	日野	H29	H29.3.23	森 田	A2	10,815	5	738	233	315	圧縮空気泡消火装置 アルミ製3連梯子・積水2.0t
小 型 ポン プ 付 積 載 車	始 良 分 遣 所	鹿児島 880あ1700	あいしよ う 始良2	三菱	H28	H28.3.23	ラ ビ ット	B2	1,270	2	340	147	194	小型ポンプ(ラビットB2)
水 槽 付 ポン プ 車	蒲 生 分 遣 所	鹿児島 830さ2014	あいしよ う 蒲生1	日野	H27	H27.3.9	森 田	A2	10,915	5	740	233	300	四輪駆動・圧縮空気泡消火装置 アルミ製3連梯子・積水2.0t
小 型 ポン プ 付 積 載 車	蒲 生 分 遣 所	鹿児島 880あ247	あいしよ う 蒲生2	ダイハツ	H18	H18.10.20	ト ー ハ ツ	B3	1,240	2	339	147	198	小型ポンプ(トーハツB3)

6 救急車両の一覧表

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

車名	配置先	車両番号	車種	年式	購入年月日	級別	総重量 (kg)	乗車人員	長さ (cm)	幅 (cm)	高さ (cm)	備考
救急中央 1	中央消防署	鹿兒島 830 さ 9009	日産	H23	H23. 3. 18	高規格	3, 275	7	564	190	249	
救急中央 2	中央消防署	鹿兒島 830 せ 119	日産	H13	H13. 2. 16	高規格	3, 245	7	575	190	246	
救急始良 1	始良分遣所	鹿兒島 831 な 119	トヨタ	H22	H22. 1. 15	高規格	3, 235	7	562	189	249	
救急蒲生 1	蒲生分遣所	鹿兒島 830 さ 9119	トヨタ	H24	H24. 12. 5	高規格	3, 185	7	562	189	255	
救急中央 3	中央消防署	鹿兒島 800 さ 8940	トヨタ	H18	H18. 3. 15	2B	2, 800	8	539	180	248	高規格対応型 予備車

IV 火 災

1 火災の発生状況

平成 28 年中における当市の火災発生件数は、27 件で前年と比較して 5 件の減である。

その内訳は、建物火災 19 件（前年比増減なし）・林野火災 1 件（前年比 3 件減）・車両火災 1 件（前年比 1 件減）・その他火災 6 件（前年比 1 件減）となっている。

また、建物焼損面積は、365 m²で前年と比較して 950 m²減少している。

損害額は 77,342 千円で、前年と比較して 40,703 千円増加している。

出火原因は、「こんろ」「煙突・煙道」「配線器具」がそれぞれ 3 件で最も多く、次いで「たばこ」「電気機器」「たき火」が 2 件と続き、火災による死傷者は、死者 1 名（前年比 2 名減）、負傷者 1 名（前年比同）が発生している。

また、その他の出動は 407 件で、その内訳は、処理外火災・救急隊支援・自火報鳴動・誤報・危険排除・怪煙確認・自然災害・ドクターヘリ支援・捜索等に出動している。

2 火災概要

（平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日）

区 分	建物火災	林野火災	車両火災	その他火災	計
件 数	19 件	1 件	1 件	6 件	27 件
焼損面積	365 m ²	2 a		11 a	1,665 m ²

3 焼損状況

（平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日）

建物火災	住 宅	全 焼 (棟)	3
		半 焼 (棟)	1
		部 分 焼 (棟)	4
		ぼ や (棟)	10
		計 (棟)	18
	非 住 家	全 焼 (棟)	2
		半 焼 (棟)	1
		部 分 焼 (棟)	1
		ぼ や (棟)	3
	計 (棟)	7	
損 害 額	建 物 火 災 (千円)	17,300	
	林 野 火 災 (千円)	81	
	車 両 ・ そ の 他 火 災 (千円)	59,961	
	計 (千円)	77,342	

4 平成28年火災発生状況（平成28年1月1日～平成28年12月31日）

番号	月日	曜日	発知時刻	種別	発生場所	原因	焼損機数			焼損面積 (㎡・a)	損害額 (千円)	り災状況		負傷者 (人)	死者 (人)
							全焼	半焼	部分焼			世帯(人)	人員(人)		
1	1月6日	水	11時34分	建物	始良市松原町1丁目29番地7	取灰		1(住)		3	3	1	1		
2	1月9日	土	17時41分	建物	始良市蒲生町米丸4366番地	固定煙突の火の粉			1(住)	1㎡(表)	5	1	1		
3	1月13日	水	17時00分	建物	始良市加治木町辺川344番地	煙道			1(住)	0	103	1	2		
4	1月22日	金	12時45分	建物	始良市住吉544番地(空家)	煙突				39	225				
5	1月31日	日	8時30分	建物	始良市西餅田589番地(始良公民館)	電気炉		1(非)		1	34				
6	2月10日	水	16時25分	林野	始良市上名4133番地	火の着いたゴミ				2a	81				
7	2月18日	木	不明	その他	始良市西餅田4020番地3付近	自殺放火(ライター)				0	25			1	
8	2月26日	日	22時00分	その他	始良市加治木町小山田2455番地	電気温水器				0	26				
9	2月28日	金	14時20分	その他	始良市蒲生町上久徳2231番地2	炭火				0	12			1	
10	4月13日	水	9時14分	建物	始良市加治木町西別府5244番地1	ガステーブル			1(住)	0	7	1	2		
11	4月21日	木	22時04分	その他	始良市船津888番地2付近	配電線(高圧)				0	1				
12	6月3日	金	12時56分	その他	始良市蒲生町上久徳2789番地付近	火の着いたゴミ				11a	0				
13	6月20日	月	7時29分	建物	始良市蒲生町白男925番地	直接雷			1(住)	0	117	1	2		
14	6月23日	木	13時35分	建物	始良市加治木町反土2059番地3	ガステーブル			1(住)	0	20	1	3		
15	7月3日	日	17時26分	建物	始良市船津1653番地コーポ谷口A	焼肉炉			1(住)	0.06(表)	37	1	1		
16	7月5日	火	18時50分	建物	始良市加治木町米丸2086番地マルハン加治木店	不明・調査中			1(非)	0	50				
17	7月11日	月	13時53分	建物	始良市平松5878番地11	不明・調査中		1(住)		2(表)	224	1	3		
18	7月20日	水	20時16分	建物	始良市加治木町米丸1988番地鹿島島ラーメン寮	電気配線			1(非)	0	3				
19	7月21日	木	20時56分	建物	始良市蒲生町西浦2349番地1号	灯油バーナー		2(住1,非1)		182	8,080	1	2		
20	8月14日	日	17時43分	建物	始良市富島町56番地14サンハイツ陽光104号	たばこ			1(住)	0.1(表)	505	1	1		
21	8月23日	火	18時18分	建物	始良市蒲生町米丸2448番地蒲生カントリークラブ	直接雷		1(非)		40	2,551				
22	9月1日	木	23時37分	その他	始良市藤元94番地鹿島の西屋始良店駐車場	たばこ				2(表)	1				
23	9月6日	火	16時29分	建物	始良市蒲生町米丸2381番地1	ガステーブル			1(住)	0	14	1	2		
24	9月10日	土	13時44分	車両	始良市蒲生町下久徳1736番地1	排気管				0	59,896				
25	10月4日	火	20時39分	建物	始良市西餅田3999番地6	電気配線		1(住)	1(住)	18	2,474	1	1		
26	10月29日	土	19時40分	建物	始良市加治木町錦江町210番地11	ローソク			2(住)	79	2,751	3	6		
27	11月7日	月	13時20分	建物	始良市加治木町錦江町15番地	火の着いたひも		1(住)		3	97	2	5		

5 死傷者・り災世帯数

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

死 傷 者	死 者	1名
	傷 者	1名
り 災 世 帯 数		17世帯
り 災 者 数		32人
1 か 月 平 均 出 火 件 数		2.3件
火 災 1 件 当 たり 損 害 見 積 額		2865千円
火 災 1 件 当 たり の 平 均 焼 損 面 積	建 物	19㎡
	林 野	2a
出火率 (12月1日現在の人口で計算)		3.5

6 過去5か年の火災発生件数及び損害額

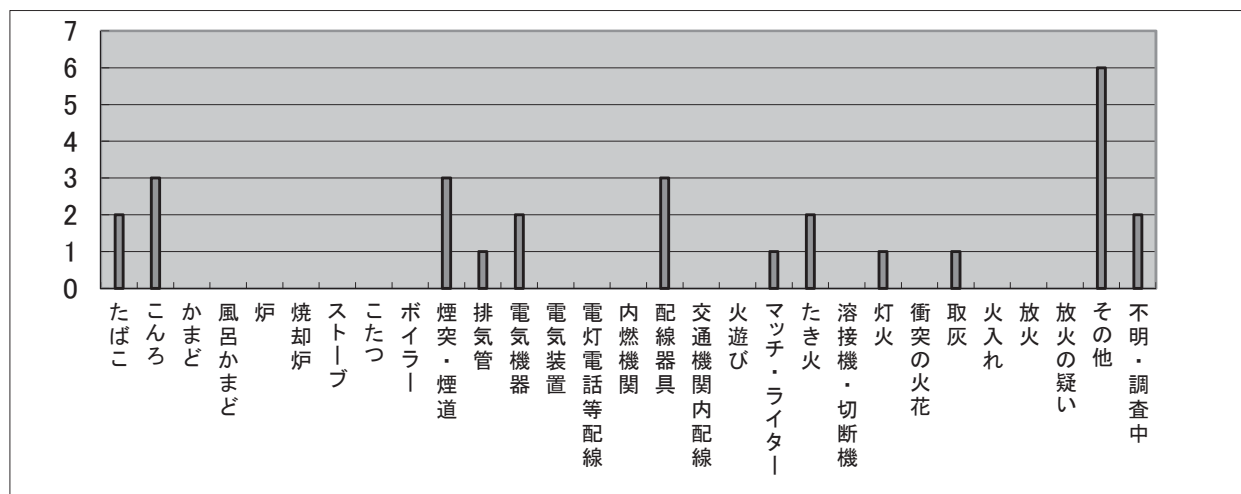
(平成24年～平成28年)

区分 年	建物火災	林野火災	車両火災	その他の 火 災	合計	損害額(千円)
平成24年	16	3	5	5	29	51,007
平成25年	12		3	13	28	22,772
平成26年	10	1	3	8	22	57,017
平成27年	19	4	2	7	32	36,639
平成28年	19	1	1	6	27	77,342

7 原因別出火件数

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

原因別	件数	原因別	件数
たばこ	2	配線器具	3
こんろ	3	交通機関内配線	
かまど		火遊び	
風呂かまど		マッチ・ライター	1
炉		たき火	2
焼却炉		溶接機・切断機	
ストーブ		灯火	1
こたつ		衝突の火花	
ボイラー		取灰	1
煙突・煙道	3	火入れ	
排気管	1	放火	
電気機器	2	放火の疑い	
電気装置		その他	6
電灯電話等配線		不明・調査中	2
内燃機関		合 計	27



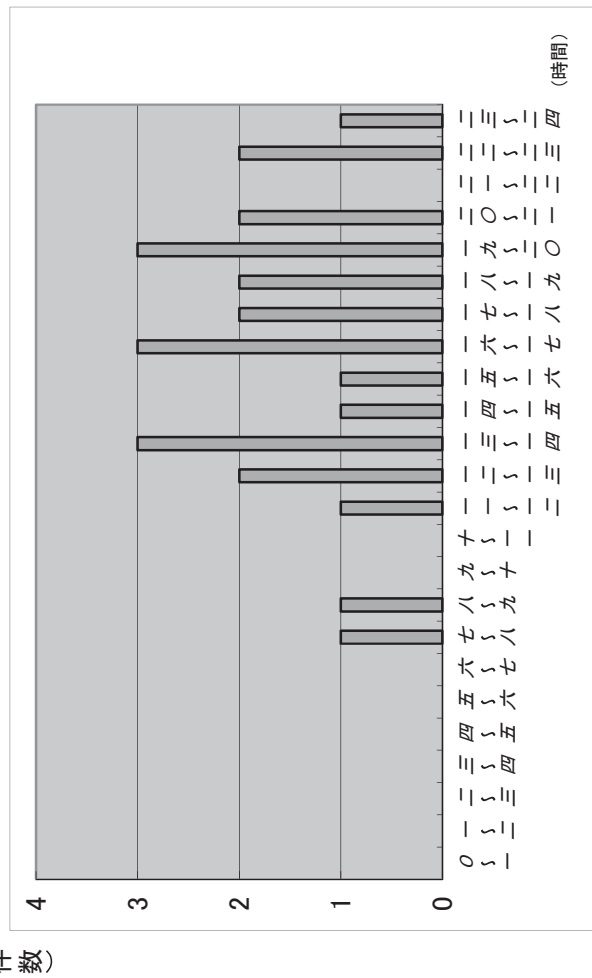
8 地域別火災発生状況及び損害額

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

種別 町別	総計		建物火災		林野火災		車両火災		その他火災		焼損面積		罹災者				死傷者				焼 損 棟 数										
	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	林野 (a)	建物 (㎡)	世帯	人員	死者	傷者	全焼	半焼	部分焼	ぼや	住	非	住	非	住	非	住	非		
始 良	11	3,610	7	3,502	1	81			3	27	2	61	5	7	1			1	1	3		1		1		1		1		2	1
加治木	8	3,057	7	3,031					1	26		82	8	18				1											5	2	
蒲 生	8	70,675	5	10,767			1	59,896	2	12		222	4	7			1	2		1	1	3					1	1	3		
合 計	27	77,342	19	17,300	1	81	1	59,896	6	65	2	365	17	32	1	1	1	3	2	1	4	1	1	1	1	1	1	10	3		

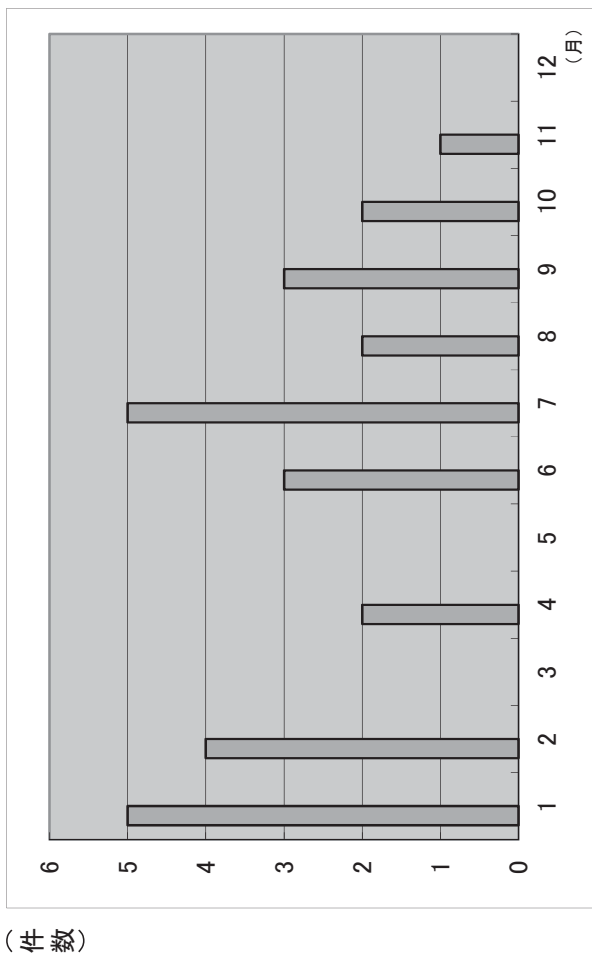
9 時間別火災発生状況

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)



10 月別火災発生状況

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)



11 月別管内合計

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

月	火災件数						焼損棟数			焼損面積			死傷者		り災世帯数			損害額 (千円)													
	計	建物	林野	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物床面積 (㎡)	建物表面積 (㎡)	林野 (a)	死者	負傷者	計	全損	半損	小損	り災人員	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発		
1月	5	5					5	1	1	3	43	1					3	1	2	4	370	370									
2月	4	1				3							2	1	1						144		81						63		
3月																															
4月	2	1				1	1			1										2	8	7						1			
5月																															
6月	3	2				1	2			2							2	2	5			137									
7月	5	5					7	2	2	3	182	2					3	1	1	6	8,394	8,394									
8月	2	2					2	1		1	40						2	1	1	1	3,056	3,056									
9月	3	1		1		1	1			1		2					1	1	2	2	59,911	14	59,896				1				
10月	2	2					6	2	1	2	97						4	4	7	7	5,225	5,225									
11月	1	1					1		1		3						2	2	5	2	97	97									
12月																															
累計	27	19	1	1		6	25	5	2	5	365	5	2	1	1	17	6	2	9	32	77,342	17,300	81	59,896			65				

12 火災・救急・救助以外の出動状況

出場先別出動件数

地域別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
始良	16	11	12	16	20	19	15	14	13	9	22	18	185
加治木	22	15	14	11	13	12	15	7	11	10	12	13	155
蒲生	3	5	6	5	7	7	11	8	3	3	4	5	67
その他													
合計	41	31	32	32	40	38	41	29	27	22	38	36	407

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

事故種別出動件数

種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
処理外火災	3		1	1				2	2		1		10
怪煙調査		1			1	1		1	1		2		7
危険排除	2	4	4	1	2	3	1	2	1	1	3	1	25
捜索活動		1		1		2		2		1	1		8
誤報・いたずら	5	2	2	2	4	1	8	3	1		2		30
自然災害				1	4	17	8		1				31
PA連携	28	22	22	24	29	13	18	18	17	19	23	31	264
ガス漏れ													
その他	2	1	3	2		1	3	1	2	1	5	4	25
その他	1						1		1				3
その他							2		1		1		4
合計	41	31	32	32	40	38	41	29	27	22	38	36	407

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

※処理外火災とは、枯草火災等で面積が小規模でかつ社会的に影響の少ないものである。

V 救急・救助

1 救急隊別出場件数

(平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日)

事故種別 救急隊別	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				合 計
											転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 等	そ の 他	
中央消防署		1	3	158	14	12	245	9	8	1,138	360			4	1,952
始良分遣所			1	63	11	14	182	2	6	669	171			1	1,120
蒲生分遣所	1	1		31	3	7	84	1	3	261	39			1	432
合 計	1	2	4	252	28	33	511	12	17	2,068	570			6	3,504

2 救急隊別搬送人員

(平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日)

事故種別 救急隊別	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
始良分遣所			1	62	11	14	171	2	6	626	171	1,064
蒲生分遣所	1	1		30	3	7	81	1	2	245	39	410
合 計	1	2	3	252	28	34	489	12	13	1,935	572	3,341

3 救急隊別不搬送件数

(平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日)

事故種別 救急隊名	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				合 計
											転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 等	そ の 他	
中央消防署			1	5	1		10		3	75				3	98
始良分遣所				5			11			43				1	60
蒲生分遣所				2			3		1	16				1	23
合 計			1	12	1		24		4	134				5	181

4 曜日別事故種別救急活動状況

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

事故種別		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資機材等 輸送等	その他	計
月	出場件数				39	5	1	79	2		323	97			1	547
	搬送人員				37	5	1	76	2		304	97				522
火	出場件数		2		35	4	3	60	2	3	270	81				460
	搬送人員		2		37	4	3	57	2	3	255	81				444
水	出場件数			2	38	7	2	73	4	3	280	88			2	499
	搬送人員			1	37	7	2	70	4	2	254	88			1	466
木	出場件数			1	32	3	3	67		5	255	75				441
	搬送人員			1	32	3	3	63		4	243	75				424
金	出場件数			1	29	3	4	72	1	1	287	107			1	506
	搬送人員			1	28	3	4	71	1	1	264	107			1	481
土	出場件数				47	5	4	81	2	1	320	79			1	540
	搬送人員				51	5	5	78	2		303	79				523
日	出場件数	1			32	1	16	79	1	4	333	43			1	511
	搬送人員	1			30	1	16	74	1	3	312	43				481
合計	出場件数	1	2	4	252	28	33	511	12	17	2,068	570			6	3,504
	搬送人員	1	2	3	252	28	34	489	12	13	1,935	570			2	3,341

5 月別事故種別救急活動状況

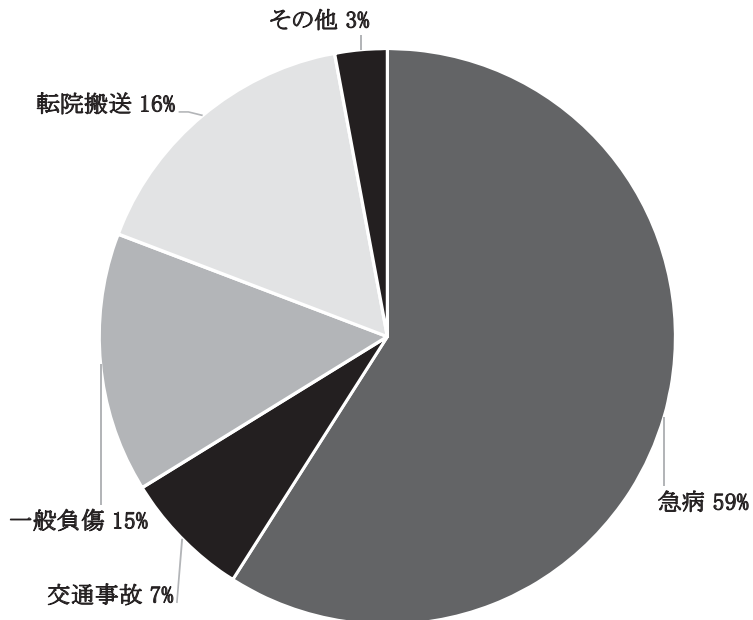
(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

事故種別		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資機材等 輸送等	その他	計
1月	出場件数				16	1	2	58	1	2	200	52			1	333
	搬送人員				17	1	2	56	1	2	184	52				315
2月	出場件数	1			13	2		59	1	1	156	50			1	284
	搬送人員	1			13	2		55	1		149	50			1	272
3月	出場件数			1	25	2	5	50		3	169	54				309
	搬送人員				26	2	5	49		3	157	54				296
4月	出場件数				29	3	5	45	4	4	174	44			1	309
	搬送人員				27	3	6	40	4	4	168	44			1	297
5月	出場件数				23	2	3	32		1	177	53			1	292
	搬送人員				26	2	3	30			166	53				280
6月	出場件数		2		16	1	6	20		1	149	46				241
	搬送人員		2		14	1	6	19		1	137	46				226
7月	出場件数				27	4	3	35		1	165	45				280
	搬送人員				26	4	3	33		1	154	45				266
8月	出場件数				13	4	2	32		2	179	39			1	272
	搬送人員				13	4	2	32		1	161	39				252
9月	出場件数				24	4	2	45	1	1	157	40				274
	搬送人員				24	4	2	44	1	1	150	40				266
10月	出場件数			3	17	2	2	37		1	179	59				300
	搬送人員			3	16	2	2	37			173	59				292
11月	出場件数				29	1	2	45	1		172	45				295
	搬送人員				30	1	2	43	1		159	45				281
12月	出場件数				20	2	1	53	4		191	43			1	315
	搬送人員				20	2	1	51	4		177	43				298
合計	出場件数	1	2	4	252	28	33	511	12	17	2,068	570			6	3,504
	搬送人員	1	2	3	252	28	34	489	12	13	1,935	570			2	3,341

6 事故種別出場比率表

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

出動件数 3,504 件

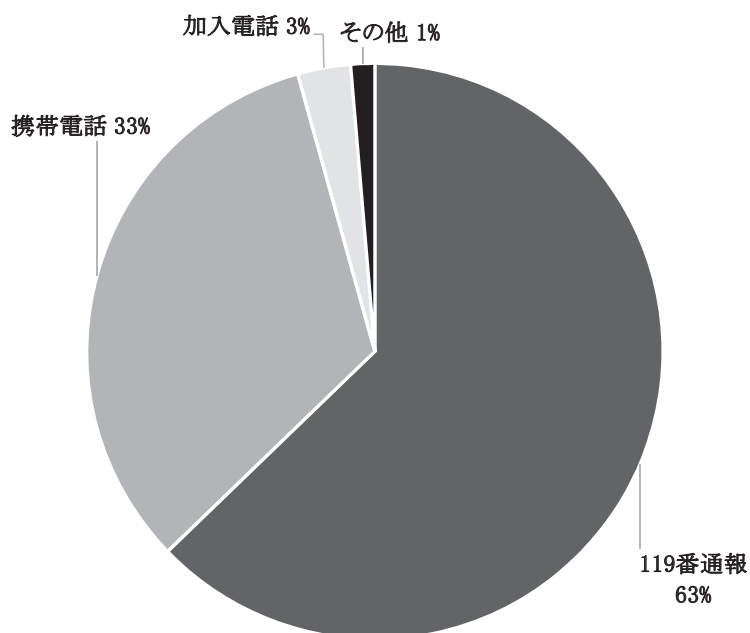


急病	2,068 件	
交通事故	252 件	
一般負傷	511 件	
転院搬送	570 件	
その他の内訳	運動競技	33 件
	自損	17 件
	労働災害	28 件
	加害	12 件
	水難	4 件
	火災	1 件
	自然災害	2 件
	その他	6 件

7 覚知別出場比率表

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

出動件数 3,504 件



119番通報	2,200 件	
携帯電話	1,153 件	
加入電話	104 件	
その他の内訳	駆け付け	21 件
	警察電話	4 件
	高速専用	0 件
	自己覚知	2 件
	消防無線	13 件
	救急無線	3 件
	その他	4 件

8 管内・管外別搬送人員

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

事故種別 区分	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	そ の 他	計
管内に住所を有する者	0	1	1	176	16	15	439	10	13	1,773	402	2,846
管外に住所を有する者	1	1	2	76	12	19	50	2	0	162	170	495
計	1	2	3	252	28	34	489	12	13	1,935	572	3,341

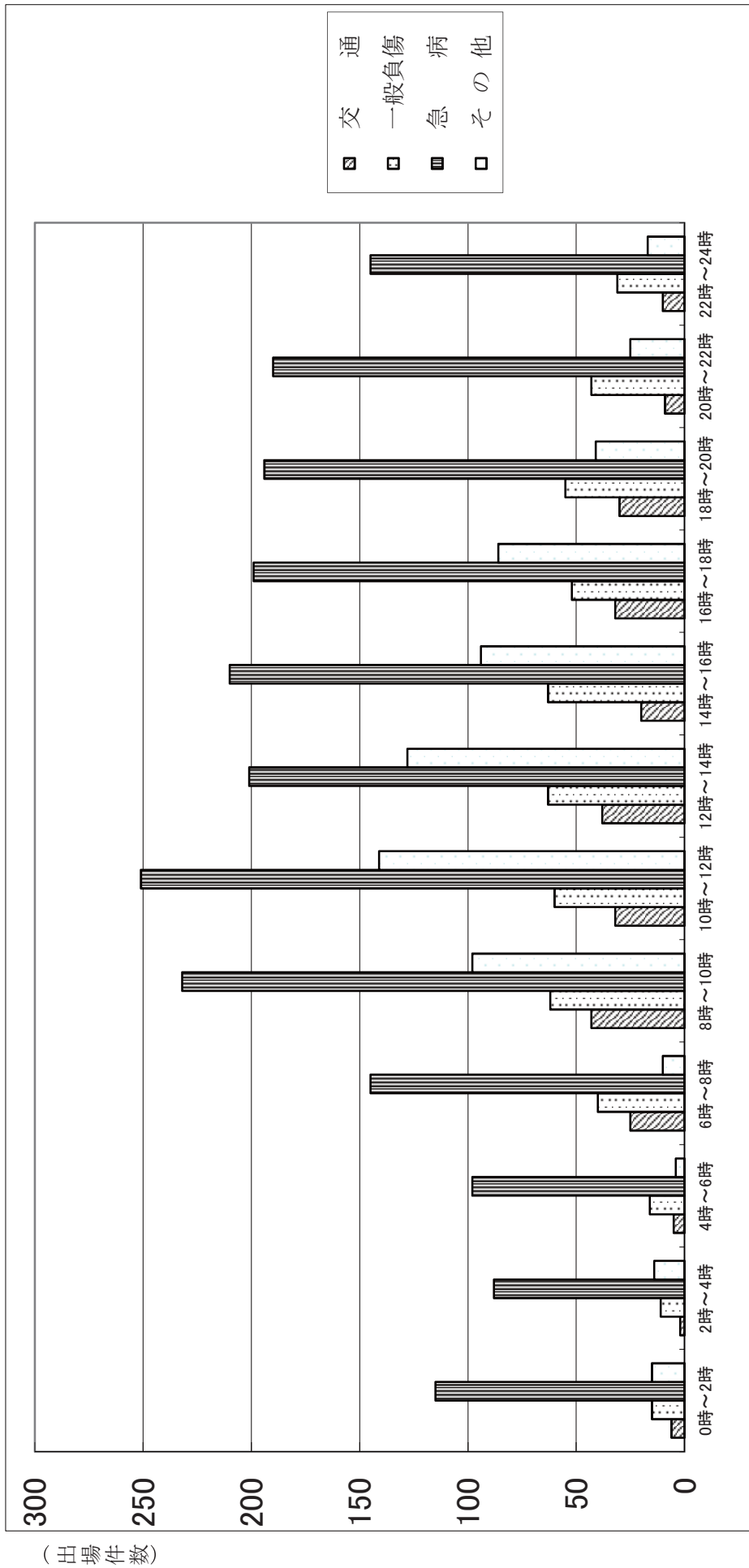
9 発生場所別搬送人員

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

発生場所 区分	住 宅	公衆 出入 場所	仕 事 場	道 路	そ の 他	計
急病	1,424	388	49	61	13	1,935
交通	3	8	0	239	2	252
一般負傷	329	99	5	46	10	489
その他	27	605	23	6	4	665
計	1,783	1,100	77	352	29	3,341

10 時間別救急出場件数

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)



11 事故種別・医療機関別搬送人員

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

告示の別等	事故種別 開設者別		急病		交通		一般負傷		その他		計		
			う 管	ち 外	う 管	ち 外	う 管	ち 外	う 管	ち 外	う 管	ち 外	
救急告示医療機関	国立		104	104	1	1			100	100	205	205	
	公立		73	73	6	6	24	24	134	134	237	237	
	公的		39	39			1	1	6	6	46	46	
	私的	病院		1,475	119	218	26	370	27	359	198	2,422	370
		療養所		5								5	
	計		1,696	335	225	33	395	52	599	438	2,915	858	
その他の医療機関	国立		59				2		18		79		
	公立		13		1				6		20		
	公的												
	私的	病院		61	18	19		75	5	31	4	186	27
		療養所		106	6	7	1	17	2	10	1	140	10
	計		239	24	27	1	94	7	65	5	425	37	
計	国立		163	104	1	1	2		118	100	284	205	
	公立		86	73	7	6	24	24	140	134	257	237	
	公的		39	39			1	1	6	6	46	46	
	私的	病院		1,536	137	237	26	445	32	390	202	2,608	397
		療養所		111	6	7	1	17	2	10	1	145	10
	計		1,935	359	252	34	489	59	664	443	3,340	895	
その他の場所	接骨院等												
	その他		1	1							1	1	
	計		1	1							1	1	
合	計		1,936	360	252	34	489	59	664	443	3,341	896	

12 年齢区分別事故種別搬送人員

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

事故種別 年齢区分	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	その 他	計
新生児										1	7	8
乳幼児				7			55			92	8	162
少年			1	23		23	19	1		60	2	129
成人	1	2	2	151	24	9	72	8	7	586	174	1,036
老人				71	4	2	343	3	6	1,196	381	2,006
計	1	2	3	252	28	34	489	12	13	1,935	572	3,341

13 傷病程度性別事故種別搬送人員

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

事故種別 傷病程度 性別	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	その 他	計
死亡	男											
	女											
	計											
重症	男	1			12	4	18		4	74	73	186
	女		1		1		40			72	75	190
	計	1	1		13	4	58		4	146	148	376
中等症	男				40	14	87	2	2	534	178	863
	女		1	2	38		132	2	5	598	244	1,024
	計		1	2	78	14	219	4	7	1,132	422	1,887
軽症	男				90	8	106	4		311		534
	女			1	71	2	106	4	2	346	2	544
	計			1	161	10	212	8	2	657	2	1,078
その他	男											
	女											
	計											
合計	男	1			142	26	211	6	6	919	251	1,583
	女		2	3	110	2	278	6	7	1,016	321	1,758
	計	1	2	3	252	28	489	12	13	1,935	572	3,341

14 救急隊員の行った応急処置件数

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

事故種別	応急処置 傷病程度	応急処置 対象人員	止血	固定	人工呼吸	心マッサージ		心肺蘇生		酸素吸入	気道保	冷却	保	温
						うち 自動	うち 自動							
急病	死亡	15												
	重症	146			2	1		55		87	64	3		34
	中等症	1,129		5							9	4		336
	軽症	652	14	1						14	2	4		187
	その他	61	1											
	計	2,003	15	6	2	1		55		101	75	11		557
交通	死亡													
	重症	13	4	44				4		4	2			6
	中等症	77	7	41						4				13
	軽症	159	4	52										29
	その他		5	1										
	計	249	20	138				4		8	2			48
一般負傷	死亡	1												
	重症	57		4	1	1		12		15	13	1		15
	中等症	218	24	19							1	1		59
	軽症	206	32	12						3	1	2		40
	その他	13	1											3
	計	495	57	35	1	1		12		18	15	4		117
その他	死亡													
	重症	157	3	2	2	1		7		59	10	1		65
	中等症	453	3	18	1					92	2			166
	軽症	47	2	3						1		2		10
	その他	1												
	計	658	8	23	3	1		7		152	12	3		241
合計	死亡	16												
	重症	373	7	50	5	3		78		165	89	5		120
	中等症	1,877	34	83	1					96	12			574
	軽症	1,064	52	68						18				266
	その他	75	7											
	計	3,405	100	201	6	3		78		279	101	5		960

事故種別	応急処置 傷病程度	被 覆	在宅療法継続			ショック パンプによる血圧 保持	除細動	静脈路 確保 (輸液)	薬剤投与	その他の 応急処置	血圧測定	聴診器に よる心・ 呼吸音の 聴取	血中酸素 飽和度の 測定	心電図	計
			※A	※B	※C										
急 病	死亡								11					4	15
	重症	1				6	5	2	130	96	29	99	118	732	
	中等症	7	4	3	1				1,103	1,114	357	1,124	492	4,555	
	軽症	3							642	612	128	648	164	2,419	
	その他								48	45	8	47	19	168	
	計	11	4	3	1	6	5	2	1,934	1,867	522	1,918	797	7,889	
交 通	死亡														
	重症	3							12	11	5	11	4	110	
	中等症	25							75	77	26	77	10	355	
	軽症	36							145	157	31	159	4	617	
	その他								3	1				10	
	計	64							235	246	62	247	18	1,092	
一 般 負 傷	死亡								1					1	2
	重症	5					1		54	44	13	45	16	240	
	中等症	42							205	213	34	218	19	835	
	軽症	80							188	181	24	200	15	778	
	その他	4							7	12		13	1	41	
	計	131					1		455	450	71	476	52	1,896	
そ の 他	死亡														
	重症	2							145	148	22	151	60	678	
	中等症	10							433	445	64	452	121	1,807	
	軽症	8							46	46	5	47	5	175	
	その他								1					1	
	計	20							625	639	91	650	186	2,661	
合 計	死亡								12				5	17	
	重症	11				6	6	2	341	299	69	306	198	1,760	
	中等症	84	4	3	1				1,816	1,849	481	1,871	642	7,547	
	軽症	127							1,021	996	188	1,054	188	3,978	
	その他	4							59	58	8	60	20	216	
	計	226	4	3	1	6	6	2	3,249	3,202	746	3,291	1,053	13,518	

(注)1 本表は、傷病者を医療機関等へ搬送するまでの間に救急隊員が行った救急処置について、その処置の対象となった傷病者の数及び処置件数をしてあります。

2 在宅療法継続欄 ※Aは在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴が施されている傷病者に対して応急処置を行った

※Bは気管切開孔又は、気管婁・人工肛門等の外婁が施されている傷病者に対して応急処置を行った数

※Cは※A※B以外の在宅療法継続中の傷病者に対して応急処置を行った数

15 現場到着所要時間別出場件数

(平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日)

現場到着 事故種別	3 分 未 満	3 分 以 上	5 分 未 満	5 分 以 上	10 分 未 満	10 分 以 上	20 分 未 満	20 分 以 上	計	現場到着最短 所要時間(分)	現場到着最長 所要時間(分)	現場到着平均 所要時間(分)
急病	24	185	1,508	320	31	2,068	1	62	7.5			
交通	4	35	153	57	3	252	1	23	7.7			
一般負傷	6	35	391	70	9	511	1	28	7.5			
その他	12	136	464	56	5	673	1	32	6.4			
計	46	391	2,516	503	48	3,504	1	62	7.3			

16 収容所要時間別搬送人員

(平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日)

収容所要時間 事故種別	10 分 未 満	10 分 以 上	20 分 未 満	20 分 以 上	30 分 未 満	30 分 以 上	60 分 未 満	60 分 以 上	120 分 未 満	120 分 以 上	計	収容最短 所要時間(分)	収容最長 所要時間(分)	収容平均 所要時間(分)		
	うち 管外	うち 管外	うち 管外	うち 管外	うち 管外	うち 管外	うち 管外	うち 管外								
急病		117		721	4	992	285	102	67	3	3	1,935	359	13	137	35.0
交通		8		94	2	137	20	13	12			252	34	16	77	35.4
一般負傷		30		190	5	244	38	24	15	1	1	489	59	12	122	34.4
その他	1	36	1	134	5	472	422	21	16	1		665	444	6	124	38.6
計	1	191	1	1,139	16	1,845	765	160	110	5	4	3,341	896	6	137	35.7

17 事故種別・年齢区分別・傷病程度別搬送人員

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

事故種別 区分		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
		新生児	死亡										
	重症											1	1
	中等症											6	6
	軽症										1		1
	その他												
	計										1	7	8
乳幼児	死亡												
	重症										2	1	3
	中等症				1			7			21	7	36
	軽症				6			48			69		123
	その他												
	計				7			55			92	8	162
少年	死亡												
	重症												
	中等症			1	4		4	5			19	2	35
	軽症				19		19	14	1		41		94
	その他												
	計			1	23		23	19	1		60	2	129
成人	死亡												
	重症	1	1		7	4		9			29	32	83
	中等症		1	1	42	12	3	25	3	5	307	141	540
	軽症			1	102	8	6	38	5	2	250	1	413
	その他												
	計	1	2	2	151	24	9	72	8	7	586	174	1,036
老人	死亡												
	重症				6		1	49		4	115	114	289
	中等症				31	2	1	182	1	2	785	266	1,270
	軽症				34	2		112	2		296	1	447
	その他												
	計				71	4	2	343	3	6	1,196	381	2,006
合計	死亡												
	重症	1	1		13	4	1	58		4	146	148	376
	中等症		1	2	78	14	8	219	4	7	1,132	422	1,887
	軽症			1	161	10	25	212	8	2	657	2	1,078
	その他												
	計	1	2	3	252	28	34	489	12	13	1,935	572	3,341

18 過去5か年の出場状況

(平成24年1月1日～平成28年12月31日)

事故種別等 年	出場件数	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	協定搬送
平成24年	3,078	5		6	278	23	19	418	10	32	1,815	472	
平成25年	3,170	1		3	285	24	28	470	26	43	1,775	509	
平成26年	3,171	2			250	32	24	507	11	39	1,797	509	
平成27年	3,358	2		1	260	22	19	484	8	30	1,918	614	
平成28年	3,504	1	2	4	252	28	33	511	12	17	2,068	576	

19 出場先別出場件数

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

事故種別等 市町村等	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計
											転院搬送	医師搬送	資器材等	その他	
始良			3	140	18	19	316	9	11	1,236	294			1	2,047
加治木			1	81	6	7	131	3	4	611	248			4	1,096
蒲生	1	2		23	4	7	63		2	220	28			1	351
鹿児島市				4											4
霧島市															
薩摩川内市															
高速道路				4			1			1					6
ドクターヘリ															
合計	1	2	4	252	28	33	511	12	17	2,068	570			6	3,504

20 出場先別搬送人員

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

事故種別 出場地区	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
始 良			2	143	18	19	299	9	8	1,150	294	1,942
加 治 木			1	80	6	8	127	3	3	576	250	1,054
蒲 生	1	2		22	4	7	62		2	208	28	336
鹿 児 島 市				3								3
霧 島 市												
薩摩川内市												
高 速 道 路				4			1			1		6
ドクターヘリ												
合 計	1	2	3	252	28	34	489	12	13	1,935	572	3,341

21 出場先別不搬送件数

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

事故種別 出場地区	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
始 良			1	5			17		3	87	1	114
加 治 木				3			6		1	35	3	48
蒲 生				1	1		1			12	1	16
鹿 児 島 市				2								2
霧 島 市												
薩摩川内市												
高 速 道 路				1								1
ドクターヘリ												
合 計			1	12	1		24		4	134	5	181

22 管内病院等情報

■ 始良地区

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

併科・・・2 科以上の病院・医院)

病 院 ・ 診 療 所 名	診 療 科 目	ベ ッ ド 数	備 考
青 雲 会 病 院	併 科	136	救急告示医療機関
希 望 ケ 丘 病 院	併 科	90	
野 元 内 科 医 院	内 科 ・ 小 児 科		
クオラリハビリテーション病院あいら	併 科	96	
こ ども クリニック山崎	小 児 科		
尾 田 内 科 胃 腸 科	併 科	19	
山 下 わ た る 内 科	併 科	19	
徳 重 医 院	併 科		
久 永 医 院	併 科	15	
内 倉 外 科 医 院	併 科		
始 良 市 立 北 山 診 療 所	内 科 ・ 小 児 科		
県 立 始 良 病 院	併 科	334	
中 西 医 院	併 科		
よ し だ 内 科 クリニック	併 科		
竹 内 レディースクリニック	産 婦 人 科	19	
朝 日 ケ 丘 クリニック	併 科		
前 田 皮 膚 科	皮 膚 科		
田 中 眼 科 医 院	眼 科		
あ い ら 小 児 科	小 児 科		
荒 武 整 形 外 科 クリニック	併 科		
耳 鼻 咽 喉 科 おおのクリニック	耳 鼻 咽 喉 科		
た け うち クリニック	併 科	19	
川 原 腎 泌 尿 器 科 クリニック	泌 尿 器 科	17	
クオラクリニックあいら	併 科		
ひふ科形成外科西クリニック	皮 膚 科		
や な せ 整 形 外 科	整 形 外 科	19	
こまき内科循環器科クリニック	併 科		
中 馬 クリニック	内 科 ・ 消 化 器 科		
錦 江 クリニック	併 科	19	
河 俣 内 科	併 科		
な が た 脳 神 経 科	脳 神 経 外 科		
た か ひ ろ 眼 科	眼 科		
い わ つ ぼ 耳 鼻 咽 喉 科	耳 鼻 咽 喉 科		
で ぐ ち 耳 鼻 咽 喉 科	耳 鼻 咽 喉 科		
有 村 クリニック	内 科		
帖 佐 こ ども クリニック	小 児 科 ・ 腎 臓 内 科 ・ ア レ ル ギ ー 科		
立 花 こ ども クリニック	小 児 科 ・ ア レ ル ギ ー 科		

■加治木地区

病 院 ・ 診 療 所 名	診 療 科 目	ベ ッ ド 数	備 考
大 井 病 院	併 科	119	救急告示医療機関
フ ィ オ ー レ 第 一 病 院	産 婦 人 科	26	
独立行政法人国立病院機構南九州病院	併 科	475	
徳 重 ク リ ニ ッ ク	併 科		
西 眼 科 医 院	眼 科		
加 治 木 記 念 病 院	併 科	200	
川 畑 内 科 医 院	併 科		
加 治 木 温 泉 病 院	併 科	350	
すこやかクリニク(鬼丸小児科)	小 児 科		
加 治 木 整 形 外 科 病 院	併 科	51	救急告示医療機関
港 町 ク リ ニ ッ ク	併 科		
ザ 王 病 院	併 科	146	
松 下 亮 治 内 科	併 科		
加 治 木 中 央 ク リ ニ ッ ク	併 科	19	
浜 崎 ク リ ニ ッ ク	内 科		
おばた泌尿器科・ひふ科	併 科		
西園耳鼻咽喉科クリニック	耳 鼻 咽 喉 科		
川 島 ク リ ニ ッ ク	併 科		
さ ん の う 内 科	内 科		
四 本 信 一 皮 膚 科	皮 膚 科		
な か む ら 小 児 科	小 児 科		
しらたにメンタルクリニック	併 科		
始 良 み や も と 眼 科	眼 科		
や ま の ク リ ニ ッ ク	併 科		

■ 蒲生地区

病 院 ・ 診 療 所 名	診 療 科 目	ベ ッ ド 数	備 考
原 田 内 科	内 科 ・ 循 環 器 科		
伊 地 知 医 院	併 科	9	
吉 留 ク リ ニ ッ ク	併 科	19	

23 鹿児島県ドクターヘリ

ドクターヘリとは、救急専用の医療機器を装備したヘリコプターに救急医療の専門医及び看護師等が搭乗し、消防機関の要請により救急現場に向かい、救急現場から医療機関に搬送する間、傷病者に救命医療を行うことのできる救急専用ヘリコプターをいい、急病・事故等で早期治療の開始・早期医療機関への搬送により、救命率向上や後遺症の軽減を図ることを目的とし、鹿児島県で平成23年12月26日から運航開始されました。

始良市管内ランデブーポイント（消防機関とドクターヘリの合流・連携地点） 47か所

（平成29年3月31日現在）

始良地区		
1	始良市立帖佐小学校	始良市鍋倉663
2	帖佐グラウンド	始良市西餅田1433-1
3	始良市立帖佐中学校	始良市西餅田1586
4	始良ニュータウン中央公園	始良市西始良3丁目11
5	始良公民館	始良市西餅田589
6	思川公園	始良市西餅田3311-1
7	始良市総合運動公園	始良市西餅田2392
8	始良市立始良小学校	始良市西餅田2726
9	鹿児島県立始良高等技術専門校	始良市西餅田1120
10	西元グラウンド	始良市東餅田3842付近
11	白銀森林公園 多目的広場	始良市平松5693-1
12	始良市立重富中学校	始良市平松7092
13	鹿児島県警察学校	始良市平松4211-1
14	始良市立重富小学校	始良市平松5636
15	西宮島公園	始良市西宮島町7-2
16	船津公園	始良市船津1502
17	始良市立西始良小学校	始良市西始良1丁目37-1
18	始良市立山田中学校	始良市下名977
19	始良市立北山小学校	始良市北山3783
20	旧堂山小学校跡地	始良市北山2712
21	始良市役所木津志出張所	始良市木津志1844-2
22	始良市立三船小学校	始良市増田399
加治木地区		
23	始良市役所加治木総合支所	始良市加治木町本町253
24	加治木龍門陶芸健康の里 陶夢ランド	始良市加治木町小山田1583-1
25	鹿児島国際ゴルフ倶楽部	始良市加治木町小山田5732
26	高岡公園	始良市加治木町西別府2944
27	始良市立永原小学校	始良市加治木町西別府594
28	始良市立柁城小学校	始良市加治木町仮屋町248
29	鹿児島県立加治木高等学校	始良市加治木町仮屋町211
30	鹿児島県立加治木工業高等学校	始良市加治木町新富町131
31	始良市立加治木小学校	始良市加治木町反土2955
32	始良市立加治木中学校	始良市加治木町反土2162
33	始良市立錦江小学校	始良市加治木町錦江町74
34	鹿児島県トラック協会加治木ソフトボール場	始良市加治木町木田1396-2
35	始良市加治木運動場	始良市加治木町木田5348-185
36	学校法人鹿児島学園龍桜高等学校	始良市加治木町木田5348
37	加治木港	始良市加治木町港町
蒲生地区		
38	始良市立漆小学校	始良市蒲生町漆317
39	始良市立蒲生中学校	始良市蒲生町北10
40	スポレク広場（陣ヶ丘）	始良市蒲生町北2232
41	鹿児島県立蒲生高等学校	始良市蒲生町下久徳848
42	新留コミュニティスポーツ広場	始良市蒲生町白男2832-1
43	旧新留小学校跡地	始良市蒲生町白男3215
44	旧大山小学校跡地	始良市蒲生町白男5522-1
45	始良市立西浦小学校	始良市蒲生町西浦815
46	高牧カントリー練習場	始良市蒲生町久末2489-1
47	白男地区運動公園	始良市蒲生町白男1692-1

鹿児島県ドクターヘリ運航状況

（平成28年1月1日～平成28年12月31日）

要請件数	出 場		未 出 場				
	現場搬送	施設間搬送	出場前 キャンセル	出場後 キャンセル	時間外要請	天候不良	重複要請
40件	18件	3件	3件	3件	1件	1件	11件

24 始良市救急医療情報キット 「始救あんしんキット」

高齢者や障害者等の安全・安心を確保することを目的に「緊急連絡先」「かかりつけ医」「持病」「服薬情報」「健康保険証コピー」「本人写真」などの情報を専用の容器に入れ、冷蔵庫に保管しておくことで、救急隊等が情報をもとに適切な処置及び適切な医療機関へ搬送するものです。 【平成23年9月1日 申請受付 配布開始】

配布対象世帯

キットの配布を受けることができる世帯は、始良市内に居住し、かつ、次のいずれかに該当する者が属する世帯です。

- 65歳以上の者
- 身体障害者手帳の交付を受けた者
- 療育手帳の交付を受けた者
- 精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者
- 特定疾患医療受給者証の交付を受けた者
- 市長が必要と認める者

(平成23年9月1日～平成28年12月31日)

始良市管内 始救あんしんキット登録数 2223名

平成24年9月9日(救急の日)から配布開始!



外出時等、急病や事故等に遭遇した時に役立つ携帯カード

始救あんしん携帯カード

始救あんしん携帯カードとは

このカードは、市民の皆様が自宅や外出先などで、急病や事故等に遭遇し救急車等を呼んだ際、本人や家族の意思で関係者に提示していただくことにより、救急活動や病院への連絡をスムーズに行うためのものです。

配布対象者は

始救あんしん携帯カードを希望される始良市民

始救あんしん携帯カードの配布場所等

- (1) 始良市役所本庁:危機管理室、社会福祉課、長寿・障害福祉課、健康増進課
- (2) 始良市役所加治木総合支所:加治木地域振興課、加治木福祉課
- (3) 始良市役所蒲生総合支所:蒲生地域振興課、蒲生福祉課
- (4) 始良市消防本部:警防課または消防本部ホームページ
(<http://www.city.aira.lg.jp/shobo/index.html>) からダウンロード

始救あんしん携帯カードの活用方法

- (1) 消防本部ホームページからダウンロードするか、始救あんしん携帯カードの配布場所にて受取る。(無償)
- (2) 始救あんしん携帯カードの用紙に各個人責任の下、裏表に必要事項を記入し、必要部分を切り取って、四つ折りにしてたんで免許証入れや財布等に入れ、有事の際に活用(救急隊等に提示していただく)する。
- (3) 始救あんしんキットと併用して活用すると更に効果的です。

26 自動体外式除細動器（AED）設置協力事業所

始良市消防本部では、管内各事業所に設置されている自動対外式除細動器（AED）の実態調査を実施し、市民の尊い生命を守り、AEDの普及・推進を図るために、始良市消防本部ホームページに「あいらAEDマップ」として事業展開し、情報公開が可能な事業所においては情報公開掲載しております。なお、「あいらAEDマップ」上において、AED設置情報を公開していただいている事業所には「あいらAEDマップ協力事業所票」を発行し、掲示をお願いしています。

始良市自動対外式除細動器（AED）設置協力事業所 — 139事業所

（平成28年12月31日現在）

始良地区（77事業所）					
1	始良市始良体育センター	27	始良市中央図書館	53	桜島サービスエリア（上り）
2	始良市総合運動公園	28	児童養護施設 若葉学園	54	〃（下り）
3	株式会社メルヘン始良アスリー	29	運転免許試験場	55	イオン始良店
4	ガッツ鹿児島	30	スターランドAIRA	56	パチンコ まるみつ始良店
5	特別養護老人ホーム やすらぎの里	31	山下わたる内科	57	パチンコ ASTY始良店
6	特別養護老人ホーム マモリエあいら	32	徳重医院	58	パチンコ T's ROAD
7	サザンブルー鹿児島	33	松崎歯科医院	59	パチンコ パーラー太郎蒲生店
8	始良市立帖佐保育園	34	青雲会病院	60	株式会社イケダパン事務所
9	始良市立重富保育園	35	川原賢・泌尿器科クリニック	61	Aコープ鹿児島 あいら店
10	始良市立帖佐小学校	36	中西医院	62	南九イリョー株式会社 始良工場
11	始良市立建昌小学校	37	やなせ整形外科	63	株式会社NBCメタルメッシュ
12	始良市立始良小学校	38	中馬クリニック	64	始良衛生有限会社
13	始良市立重富小学校	39	おばたデンタルクリニック	65	松原上公民館
14	始良市立山田小学校	40	鹿児島県立始良病院	66	帖佐地区公民館
15	始良市立北山小学校	41	よしだ内科クリニック	67	脇元地区公民館
16	始良市立西始良小学校	42	希望ヶ丘病院	68	山田地区公民館
17	始良市立三船小学校	43	始良市役所本庁	69	松原地区公民館
18	始良市立重富中学校	44	始良市立始良公民館	70	始良市水道事業部
19	始良市立帖佐中学校	45	始良市立始良社会福祉協議会	71	三叉コミュニティセンター
20	始良市立山田中学校	46	財団法人 鹿児島県学校給食会	72	始良市郷土芸能等伝承館
21	鹿児島県警察学校	47	リバーサイドJOY	73	西部地域営農センター
22	始良高等技術専門学校	48	重富干潟小さな博物館	74	鹿児島サン・ヴィレッジ始良
23	鹿児島県防災研修センター	49	鹿児島銀行 始良支店	75	希望ヶ丘保育園
24	鹿児島県 県民の森	50	中央消防署 始良分遣所	76	耳鼻咽喉科おおのクリニック
25	始良市北山診療所	51	田中眼科	77	始良警察署
26	株式会社イケダパン重富工場	52	株式会社イケダパン流通センター		
加治木地区（41事業所）					
1	老人ホーム さくらライフサポート	15	鹿児島県立加治木工業高等学校	29	始良市営 竜門滝温泉
2	障害者支援施設 さちかぜ	16	鹿児島県立加治木養護学校	30	始良・伊佐地域振興局本館
3	共生ホーム よかあんべ	17	始良市立加治木図書館	31	始良市加治木福祉センター
4	始良市立加治木保育所	18	南九州病院	32	鹿児島ニチレキ株式会社
5	始良市立小山田保育所	19	加治木記念病院	33	陶夢ランド
6	社会福祉法人 晶貴会 高井田保育園	20	フィオーレ第一病院	34	中央消防署
7	始良市立加治木小学校	21	加治木整形外科病院	35	鹿児島県建設業協会加治木支部
8	始良市立永原小学校	22	始良市役所加治木総合支所	36	イエスランド加治木店
9	始良市立竜門小学校	23	始良市文化会館 加音ホール	37	丸亀製麺 加治木店
10	始良市立柁城小学校	24	さえずりの森	38	(有) 福永組
11	始良市立錦江小学校	25	鹿児島銀行 加治木支店	39	加治木税務署
12	始良市立加治木中学校	26	西日本宇佐美九州10号加治木SS	40	MGM始良店
13	学校法人 鹿児島学園 龍桜高等学校	27	宗教法人 性応寺	41	ブックスミスミ加治木バイパス店
14	鹿児島県立加治木高等学校	28	高速道路交通警察隊		
蒲生地区（21事業所）					
1	始良市蒲生町弓道場	8	始良市立蒲生中学校	15	始良市蒲生観光交流センター
2	蒲生大楠運動公園多目的屋内運動場	9	鹿児島県立蒲生高等学校	16	蒲生ふるさと交流館
3	始良市蒲生体育館(大楠アリーナ)	10	吉留クリニック	17	フォンタナの丘かもう
4	鹿児島高牧カントリークラブ	11	始良市役所蒲生総合支所	18	あいら農業協同組合 蒲生統括支店
5	始良市立蒲生小学校	12	始良市役所蒲生公民館	19	中央消防署 蒲生分遣所
6	始良市立西蒲小学校	13	東洋シャッター(株)九州工場	20	鹿児島県林業労働力確保支援センター
7	始良市立漆小学校	14	始良市温泉センター くすの湯	21	インフラテックサービス株式会社

27 救助活動状況

(平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日)

事故種別 区分	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物等事故	ガス酸欠事故	爆発事故	その他	合計
出動件数	14	4	1	1	5			11	36
活動件数	14	4	1	1	5			10	35

28 事故種別発生場所出動件数

(平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日)

事故種別 区分		火災	交通事故	水難事故	自然事故	機械事故	建物等事故	ガス酸欠事故	爆発事故	その他	合計
屋内	住居				1		4			3	8
	その他の屋内									1	1
屋外	道路	高速		3							3
		その他の道路		10							
	内水面			3						2	5
	外水面			1							1
	山岳									1	1
	その他の屋外					1	1			3	5
	その他		1							1	2
計			14	4	1	1	5			11	36

VI 予 防

1 防火対象物現況

(平成29年4月1日現在)

令 別 表 区 分			計
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場	5
	ロ	公会堂・集会場	41
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等	
	ロ	遊技場・ダンスホール	13
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等	
	ニ	カラオケボックスその他遊興のための施設	3
3	イ	待合・料理店等	
	ロ	飲食店	64
4		百貨店・マーケット・物品販売店舗・展示場	137
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	62
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅	403
6	イ	病院・診療所・助産所	121
	ロ	老人短期入所施設等	50
	ハ	老人デイサービスセンター等	117
	ニ	幼稚園・特別支援学校	12
7		小学校・中学校・高等学校・大学等	186
8		図書館・博物館・美術館等	11
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等	
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	14
10		車両の停車場・船舶、航空機の発着場	5
11		神社・寺院・教会等	38
12	イ	工場・作業場	241
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	
13	イ	自動車車庫・駐車場	36
	ロ	飛行機又は回転翼飛行機の格納庫	
14		倉庫	158
15		前各項に該当しない事業所	291
16	イ	特定防火対象物の存する複合用途対象物	81
	ロ	上記以外の複合用途対象物	25
17		文化財等	
18		延長50m以上のアーケード	
合 計			2,114

2 階層別防火対象物の現況

(平成29年4月1日現在)

令別表区分		階別	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	計
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場	1								1
	ロ	公会堂・集会場	4								4
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等									
	ロ	遊技場・ダンスホール									
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等									
	ニ	カラオケボックスその他遊興のための施設									
3	イ	待合・料理店等									
	ロ	飲食店	3	1							4
4		百貨店・マーケット・物品販売店舗・展示場	9								9
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	3		2						5
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	82	50	13	1	1	1	1	1	150
6	イ	病院・診療所・助産所	12	5	2	1					20
	ロ	老人短期入所施設等	3	3							6
	ハ	老人サービスセンター等	2	1	1						4
	ニ	幼稚園・特別支援学校									
7		小学校・中学校・高等学校・大学等	24	9							33
8		図書館・博物館・美術館等	1								1
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等									
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場									
10		車両の停車場・船舶、航空機の発着場									
11		神社・寺院・教会等	4								4
12	イ	工場・作業場	9	2							11
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ									
13	イ	自動車車庫・駐車場	3								3
	ロ	飛行機又は回転翼飛行機の格納庫									
14		倉庫	2								2
15		前各項に該当しない事業所	15	4	3		1				23
16	イ	特定防火対象物の存する複合用途対象物	24	8	3	1		2			38
	ロ	上記以外の複合用途対象物	5	4	2				1		12
17		文化財等									
18		延長50m以上のアーケード									
合 計			206	87	26	3	2	3	2	1	330

3 予防査察実施状況

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

令 別 表 区 分			実施回数
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場	5
	ロ	公会堂・集会場	36
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等	
	ロ	遊技場・ダンスホール	3
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等	
	ニ	カラオケボックスその他遊興のための施設	
3	イ	待合・料理店等	
	ロ	飲食店	39
4		百貨店・マーケット・物品販売店舗・展示場	105
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	54
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	75
6	イ	病院・診療所・助産所	68
	ロ	老人短期入所施設等	46
	ハ	老人デイサービスセンター等	92
	ニ	幼稚園・特別支援学校	11
7		小学校・中学校・高等学校・大学等	143
8		図書館・博物館・美術館等	10
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等	
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	6
10		車両の停車場・船舶、航空機の発着場	
11		神社・寺院・教会等	20
12	イ	工場・作業場	184
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	
13	イ	自動車車庫・駐車場	8
	ロ	飛行機、回転翼飛行機の格納庫	
14		倉庫	97
15		前各項に該当しない事業所	136
16	イ	特定防火対象物の存する複合用途対象物	51
	ロ	上記以外の複合用途対象物	19
17		文化財等	
18		延長50m以上のアーケード	
合 計			1,208

4 危険物施設の数量及び類別状況

(平成29年4月1日現在)

製造所等の別 数量別	合 計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所				
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所
計	171		13	23	1	39		17	6	54			1	17
指 定 数 量 別	5倍以下	47	3	9	1	15		3	2	6				8
	5倍を超え 10倍以下	40	5	6		14			3	6				6
	10倍を超え 50倍以下	42	5	3		10		5	1	16				2
	50倍を超え 100倍以下	12						9		3				
	100倍を超え 150倍以下	6								6				
	150倍を超え 200倍以下	6								6				
	200倍を超え 1,000倍以下	15		3						11				1
	1,000倍を超え 5,000倍以下	2		2										
	5,000倍を超え 10,000倍以下	1											1	
	10,000倍を 超えるもの													

5 危険物関係施設の査察実施状況

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

施設別	査察実施数	査察延回数	備考
屋内貯蔵所	12	12	
屋外タンク貯蔵所	19	19	
屋内タンク貯蔵所	1	1	
地下タンク貯蔵所	22	22	
簡易タンク貯蔵所			
移動タンク貯蔵所	16	16	
屋外貯蔵所	2	2	
給油取扱所	44	44	
移送取扱所	1	1	
一般取扱所	12	12	
合計	129	129	

6 各種届出処理状況

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

件名	煙火打ち上げ	林火災とまぎらわし届出	露店等の開設届出	少量危険物届出	液化石油ガス届出	ボカイマラード設置届出	消防用設備等着工届出	変蓄電設備等届出	水素ガス気球の設置届出	防火対象物使用開始届出	計
件数	42	189	85	5	37	5	84	12	-	62	521

7 防火訓練等実施回数

(平成28年1月1日～平成28年12月31日) (単位：回、人)

対象物 署・所別	中央消防署		始良分遣所		蒲生分遣所		合計	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
百貨店・マーケット	22	889	22	199	5	20	49	1108
旅館・ホテル	3	12	1	9	4	60	8	81
病院・養護施設	83	2,873	46	2,371	13	492	142	5,736
保育園・幼稚園	37	2,755	19	1,625	4	234	60	4,614
学 校	37	11,011	18	4,324	33	3057	88	18,392
工場・作業場	5	159	7	350	12	543	24	1,052
官 公 署	15	482	13	259	16	297	44	1,038
その他の事業所	48	676	20	266	22	210	90	1,152
地域町内会等	29	939	19	1,060	10	175	58	2,174
合 計	279	19,796	165	10,463	119	5,088	563	35,347

8 消防クラブ結成状況

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

消防クラブ名	発足年月日	人員	所在地
川野保育所幼年消防隊	昭和 5 9 . 8 . 1	41	始良市加治木町木田 757
建昌保育園幼年消防クラブ	昭和 5 9 . 1 0 . 3 0	26	始良市東餅田 2608
大楠ちびっ子園 幼年消防クラブ	昭和 6 0 . 1 0 . 8	43	始良市蒲生町上久徳 1194-18
ひまわり保育園幼年消防隊	昭和 6 2 . 4 . 1	17	始良市加治木町木田 1882
高井田保育園幼年消防隊	昭和 6 2 . 6 . 1	27	始良市加治木町木田 4872-2
かずみ保育園幼年消防隊	昭和 6 2 . 7 . 2 1	13	始良市加治木町反土 1420-1
啓明幼稚園幼年消防隊	平成 2 . 6 . 2 6	58	始良市池島 31-7
薫光幼稚園幼年消防隊	平成 2 . 6 . 2 6	63	始良市松原町 1-17-9
西浦小学校少年消防クラブ	平成 1 0 . 6 . 1 0	17	始良市蒲生町西浦 815
漆小学校少年消防クラブ	平成 1 0 . 6 . 1 3	23	始良市蒲生町漆 317

Ⅶ 消防団

1 消防団現勢

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

区 分	人 員 (人)			機 械 (台)			
	分 団 数	定 員	実 員	水槽付 消防ポン プ自動車	消防ポン プ自動車	小型ボン プ付積載 自動車	小型動力 ポンプ
計	15	541	487	2	14	24	36

2 年齢別消防団員数 (実員)

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

20 歳未満	20 歳 ～ 29 歳	30 歳 ～ 39 歳	40 歳 ～ 49 歳	50 歳 ～ 59 歳	60 歳以上	計	平均年齢
	31	136	119	116	85	487	46.3

3 在籍年数別消防団員数 (実員)

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年以上 15 年未満	15 年以上 20 年未満	20 年以上 25 年未満	25 年以上 30 年未満	30 年以上	計
109	118	73	65	62	44	16	487

4 消防団員の費用弁償

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

種 別	費用弁償額 (1 日につき)
災害出動 (水・火災等) 訓練・警戒	5,000 円
会議	4,000 円

5 団員等年報酬状況 (年)

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

区 分	金 額
団 長	162,000 円
副 団 長	162,000 円
方 面 隊 長	120,000 円
分 団 長	90,000 円
副 分 団 長	66,000 円
部 長	57,000 円
班 長	51,000 円
団 員	48,000 円

6 消防団幹部一覽表

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

団 長	副団長兼方面隊長	分 団 名	部 名	分 団 長 名
宇 都 和 義	始良方面隊 有 村 信 行	市役所分団		迫 間 栄 仁
		重 富 分 団	脇 元	村 田 哲 哉
			平 松	
		始 良 分 団	建 昌	馬 場 靖 男
			松 原	
		帖 佐 分 団	三 叉	上 野 洋 一
			米 山	
			船 津	
		山 田 分 団	下 名	出 水 清 治
			上 名	
	大 山			
	北 山 分 団	北 山	山 口 忠 昭	
		木津志		
	加治木方面隊 三 宅 利 秋	加治木分団		吉 村 正 和
		錦江分団		前 原 盛 行
		永 原 分 団	西別府	内 村 昭 夫
			辺 川	
		東 部 分 団	小山田	緒 方 清 隆
	中 野			
	蒲生方面隊 東 村 和 昭	蒲生分団		小 倉 和 彦
		大 楠 分 団	城	迫 久 男
中 央				
友 德 分 団		川 東	南 律 也	
		米 丸		
		下久徳		
白 男 分 団		新 留	原 幾 雄	
		白 男		
	大 山			
上 場 分 団	西 浦	原 田 良 孝		
	漆			

7 消防団の人員機械配置一覧表

(平成29年4月1日現在) (単位：人、台)

方面名	分団名	部名	人員(人)		水槽付 消防ポンプ自動車(台)	消防ポンプ自動車(台)	小型ポンプ付積載自動車(台)	小型動力ポンプ(台)	
			うち女性	うち市職員					
	団本部		16	12	1				
始良方面隊	市役所分団		15		15	1	1	1	
	重富分団	脇元	19		6		1	1	
		平松	19		6		1	1	
	始良分団	建昌	19		5		1	1	
		松原	17		1		1	1	
	帖佐分団	三叉	20	1	4			1	1
		米山	17		3		1		1
		船津	13					1	1
	山田分団	上名	12		1			1	1
		下名	16				1		1
		大山	10					1	1
	北山分団	北山	20					3	4
木津志		11					1	2	
加治木方面隊	加治木分団		25			1	1	1	2
	錦江分団		26		1		1	1	1
	永原分団	西別府	21				1		1
		辺川	16		2			1	1
	東部分団	小山田	14	3			1		1
中野		13					1	1	
蒲生方面隊	蒲生分団		17		17		1	2	2
	大楠分団	城	15		1			1	1
		中央	16		4		1	1	1
	友徳分団	川東	14		1			1	1
		下久徳	13					1	1
		米丸	11		1			1	1
	白男分団	新留	11					1	1
		白男	12		2			1	1
		大山	9					1	1
上場分団	西浦	17					1	1	
	漆	13		3		1	1	1	
合	計	487	16	74	2	14	24	36	

8 消防団車両の一覧表

(平成29年4月1日現在)

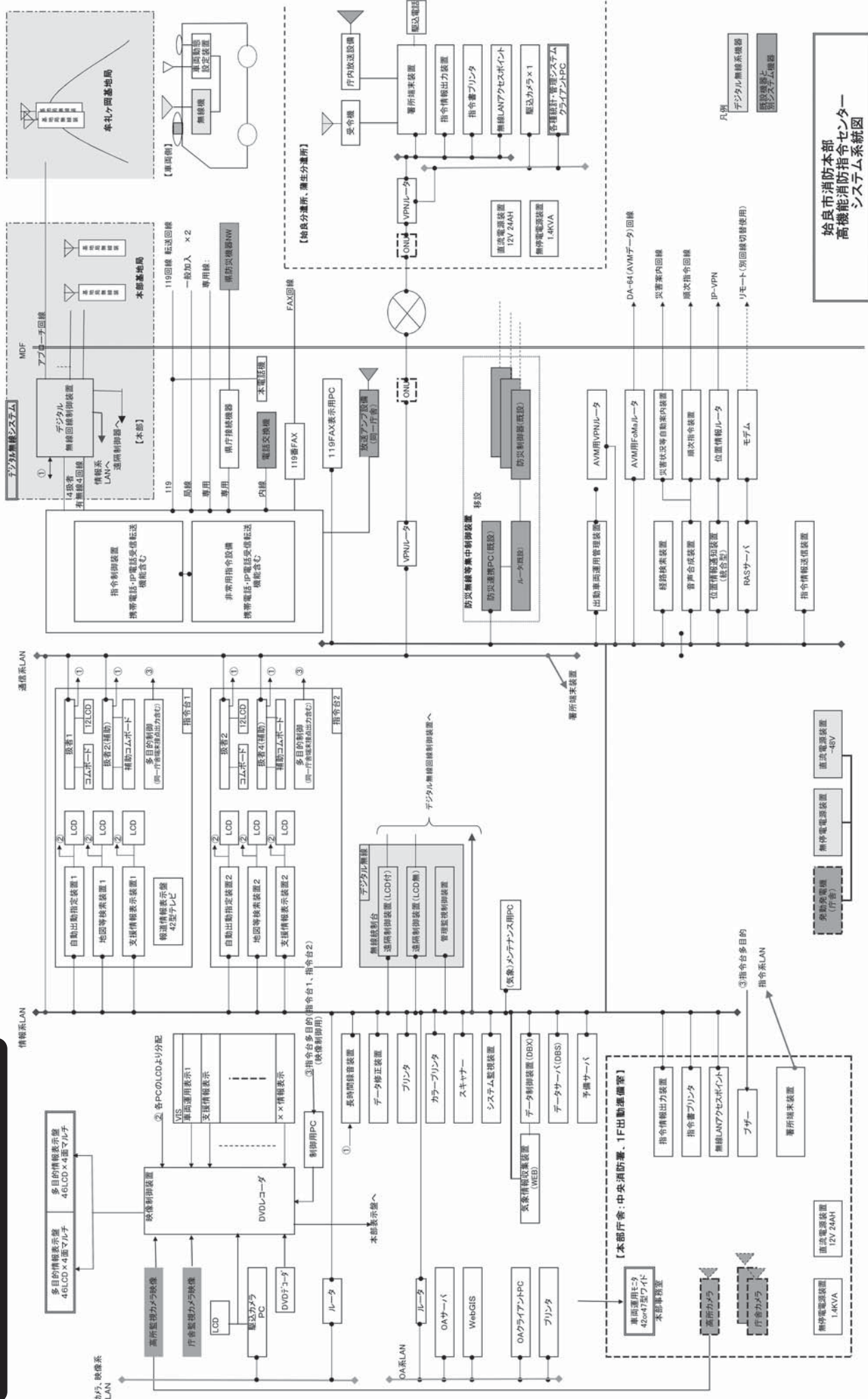
番号	方面隊	分団名	部名	車両名	車種	登録番号	初回登録年	使用年数	ポンプの級
1	団本部			消防団指揮車	スズキ	鹿児島800す2814	平成22年11月5日	6年4か月	
2				消防団広報車	ニッサン	鹿児島501ほ2791	平成26年11月25日	2年4か月	
3		市役所分団		水槽付消防ポンプ車	三菱	鹿児島88す2858	平成4年3月5日	25年0か月	
4					消防ポンプ車	三菱	鹿児島88す6059	平成7年10月24日	21年5か月
5		重富分団	脇元	消防ポンプ車	三菱	鹿児島800さ3780	平成13年12月4日	15年3か月	
6					消防ポンプ車	いすゞ	鹿児島800さ2303	平成12年11月10日	16年4か月
7		始良分団	建昌	消防ポンプ車	日野	鹿児島800す536	平成19年11月22日	9年4か月	
8					消防ポンプ車	三菱	鹿児島800さ6335	平成15年11月14日	13年4か月
9		帖佐分団	三叉	小型ポンプ付積載車	トヨタ	鹿児島88す7222	平成8年12月6日	20年3か月	
10					消防ポンプ車	三菱	鹿児島88す4134	平成5年10月5日	23年5か月
11		山田分団	船津	小型ポンプ付積載車	トヨタ	鹿児島88す5219	平成6年11月29日	22年4か月	
12					小型ポンプ付積載車	トヨタ	鹿児島88す7223	平成8年12月6日	20年3か月
13		北山分団	下名	消防ポンプ車	ニッサン	鹿児島800さ5120	平成14年11月25日	14年4か月	
14					小型ポンプ付積載車	トヨタ	鹿児島88す7221	平成8年12月6日	20年3か月
15		北山分団	北山	小型ポンプ付積載車(軽)	ホンダ	鹿児島80あ775	平成7年12月21日	22年3か月	
16					小型ポンプ付積載車(軽)	ホンダ	鹿児島80あ776	平成7年12月21日	21年3か月
17			木津志	小型ポンプ付積載車	トヨタ	鹿児島88す5217	平成6年11月29日	22年4か月	
18					小型ポンプ付積載車	トヨタ	鹿児島88す5218	平成6年11月29日	22年4か月

(平成29年4月1日現在)

番号	方面隊	分団名	部名	車両名	車種	登録番号	初回登録年	使用年数	ポンプの級		
19	加治木方面隊	加治木分団		水槽付消防ポンプ車(大型)	日野	鹿児島88や3587	昭和62年12月24日	29年3か月			
20				消防ポンプ車	日野	鹿児島800す6672	平成27年11月19日	1年4か月			
21				小型ポンプ付積載車	トヨタ	鹿児島800す1869	平成21年8月19日	7年7か月			
22		錦江分団			消防ポンプ車	三菱	鹿児島800さ4973	平成14年10月18日	14年5か月		
23					小型ポンプ付積載車	ニッサン	鹿児島800す4238	平成24年10月19日	4年5か月		
24					消防ポンプ車	ニッサン	鹿児島88す3708	平成5年3月19日	24年0か月		
25					永原分団	ニッサン	鹿児島800す4189	平成24年9月21日	4年6か月		
26	東部分団				小山田		消防ポンプ車	日野	鹿児島800す7424	平成28年10月27日	0年5か月
27		小型ポンプ付積載車	トヨタ	鹿児島800さ7696			平成17年1月18日	12年2か月			
28	蒲生方面隊	蒲生分団		消防ポンプ車	日野	鹿児島800す6119	平成27年3月6日	2年0か月			
29				小型ポンプ付積載車(軽)	三菱	鹿児島800あ1640	平成27年11月11日	1年4か月			
30				多機能型消防車	いすゞ	鹿児島800す2919	平成22年12月22日	6年3か月			
31				城	小型ポンプ付積載車	トヨタ	鹿児島88す4306	平成5年12月13日	23年3か月		
32				大楠分団	中央	消防ポンプ車	三菱	鹿児島800さ6453	平成15年12月18日	13年3か月	
33	蒲生方面隊	友徳分団		小型ポンプ付積載車	スバル	鹿児島880あ256	平成18年11月29日	10年4か月			
34				小型ポンプ付積載車	トヨタ	鹿児島800す4971	平成25年9月24日	3年6か月			
35				下久徳	小型ポンプ付積載車	トヨタ	鹿児島800す3638	平成23年12月26日	5年3か月		
36				米丸	小型ポンプ付積載車	トヨタ	鹿児島800す5109	平成25年11月14日	3年4か月		
37				新留	小型ポンプ付積載車	トヨタ	鹿児島800す7423	平成28年10月27日	0年5か月		
38				白男分団	白男	小型ポンプ付積載車	トヨタ	鹿児島88す5083	平成6年10月11日	22年5か月	
39				大山	小型ポンプ付積載車	トヨタ	鹿児島88す3468	平成4年11月27日	24年4か月		
40	上場分団			小型ポンプ付積載車	トヨタ	鹿児島800す5108	平成25年11月14日	3年4か月			
41				漆	消防ポンプ車	日野	鹿児島800す6118	平成27年3月6日	2年0か月		
42				小型ポンプ付積載車(軽)	三菱	鹿児島80あ1400	平成13年12月13日	15年3か月			

VII 通信・気象

1 消防緊急通信指令施設構成図



始良市消防本部
高機能消防指令センター
システム系統図

2 消防無線配置状況

(平成29年4月1日現在)

所属	配置	区分	呼出名称	実装周波数						
				活動波1	活動波2	主運用波	統制波1	統制波2	統制波3	
消防本部	通信指令室	基地局	あいしょうほんぶ	始消本部	○	○	○	○	○	○
		基地局	あいしょうむれがおか	始消牟礼ヶ岡	○	○	○	○	○	○
	警防課	移動局	あいしょうけいぼう1	始消警防1	○	○	○*	○	○	○
		移動局	あいしょうだんしき1	始消団指揮1	○	○	○*	○	○	○
		携帯局	あいしょうけいぼう11	始消警防1 1	○	○	○*	○	○	○
		携帯局	あいしょうけいぼう12	始消警防1 2	○	○	○*	○	○	○
携帯局	あいしょうけいぼう13	始消警防1 3	○	○	○*	○	○	○		
中央消防署	中央	移動局	あいしょうちゅうおう10	始消中央1 0	○	○	○*	○	○	○
		〃	あいしょうちゅうおう1	始消中央1	○	○	○*	○	○	○
		〃	あいしょうちゅうおう2	始消中央2	○	○	○*	○	○	○
		〃	あいしょうちゅうおう3	始消中央3	○	○	○*	○	○	○
		〃	あいしょうちゅうおうきゅうじょ1	始消中央救助1	○	○	○*	○	○	○
		〃	あいしょうちゅうおうしき1	始消中央指揮1	○	○	○*	○	○	○
		〃	あいしょうきゅうきゅうちゅうおう1	始消救急中央1	○	○	○*	○	○	○
		〃	あいしょうきゅうきゅうちゅうおう2	始消救急中央2	○	○	○*	○	○	○
		〃	あいしょうきゅうきゅうちゅうおう3	始消救急中央3	○	○	○*	○	○	○
		〃	あいしょうしえん1	始消支援1	○	○	○*	○	○	○
		携帯局	あいしょうちゅうおう11	始消中央1 1	○	○	○*	○	○	○
		〃	あいしょうちゅうおう12	始消中央1 2	○	○	○*	○	○	○
		〃	あいしょうちゅうおう13	始消中央1 3	○	○	○*	○	○	○
		〃	あいしょうちゅうおう14	始消中央1 4	○	○	○*	○	○	○
		〃	あいしょうちゅうおう15	始消中央1 5	○	○	○*	○	○	○
		〃	あいしょうちゅうおう16	始消中央1 6	○	○	○*	○	○	○
		〃	あいしょうちゅうおう17	始消中央1 7	○	○	○*	○	○	○
		〃	あいしょうちゅうおう18	始消中央1 8	○	○	○*	○	○	○
		〃	あいしょうちゅうおう19	始消中央1 9	○	○	○*	○	○	○
		〃	あいしょうちゅうおう20	始消中央2 0	○	○	○*	○	○	○
		〃	あいしょうちゅうおう21	始消中央2 1	○	○	○*	○	○	○
始良分遣所	始良	移動局	あいしょうあいら10	始消始良1 0	○	○	○*	○	○	○
		〃	あいしょうあいら1	始消始良1	○	○	○*	○	○	○
		〃	あいしょうあいら2	始消始良2	○	○	○*	○	○	○
		〃	あいしょうきゅうきゅうあいら1	始消救急始良1	○	○	○*	○	○	○
		携帯局	あいしょうあいら1 1	始消始良1 1	○	○	○*	○	○	○
		〃	あいしょうあいら1 2	始消始良1 2	○	○	○*	○	○	○
		〃	あいしょうあいら1 3	始消始良1 3	○	○	○*	○	○	○
		〃	あいしょうあいら1 4	始消始良1 4	○	○	○*	○	○	○
		〃	あいしょうあいら1 5	始消始良1 5	○	○	○*	○	○	○
〃	あいしょうあいら1 6	始消始良1 6	○	○	○*	○	○	○		
蒲生分遣所	蒲生	移動局	あいしょうかもう10	始消蒲生1 0	○	○	○*	○	○	○
		〃	あいしょうかもう1	始消蒲生1	○	○	○*	○	○	○
		〃	あいしょうかもう2	始消蒲生2	○	○	○*	○	○	○
		〃	あいしょうきゅうきゅうかもう1	始消救急蒲生1	○	○	○*	○	○	○
		携帯局	あいしょうかもう1 1	始消蒲生1 1	○	○	○*	○	○	○
		〃	あいしょうかもう1 2	始消蒲生1 2	○	○	○*	○	○	○
		〃	あいしょうかもう1 3	始消蒲生1 3	○	○	○*	○	○	○
		〃	あいしょうかもう1 4	始消蒲生1 4	○	○	○*	○	○	○
〃	あいしょうかもう1 5	始消蒲生1 5	○	○	○*	○	○	○		
〃	あいしょうかもう1 6	始消蒲生1 6	○	○	○*	○	○	○		

*移動局、携帯局については主運用波7波

3 119番受信状況

平成28年中における119番の受信総件数は、5,992件で1日平均16.4件となり前年の6,047件に比べ55件の減となっています。

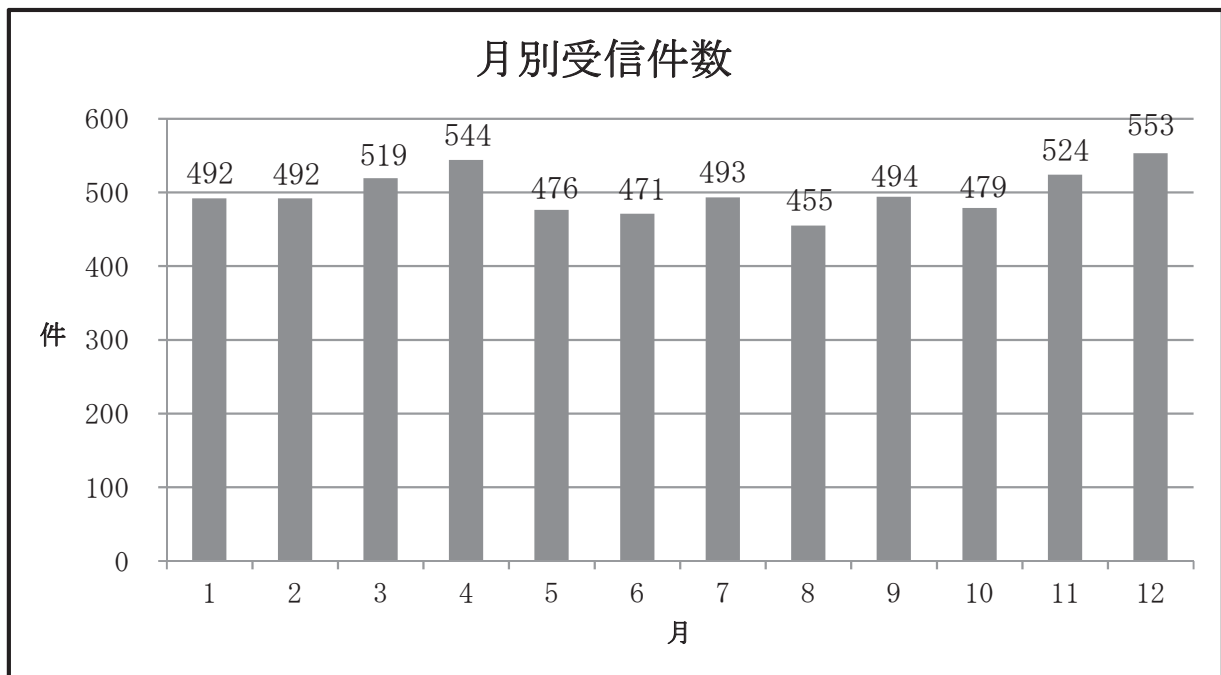
また、問合せ、いたずら等などの目的外通報が2,325件で約38.8%を占めています。

これに対し災害通報は、火災が27件で全体の約0.5%、救急が3,477件で全体の約58.0%となっております。

以下災害別及び各月の受信状況は、次のとおりです。

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

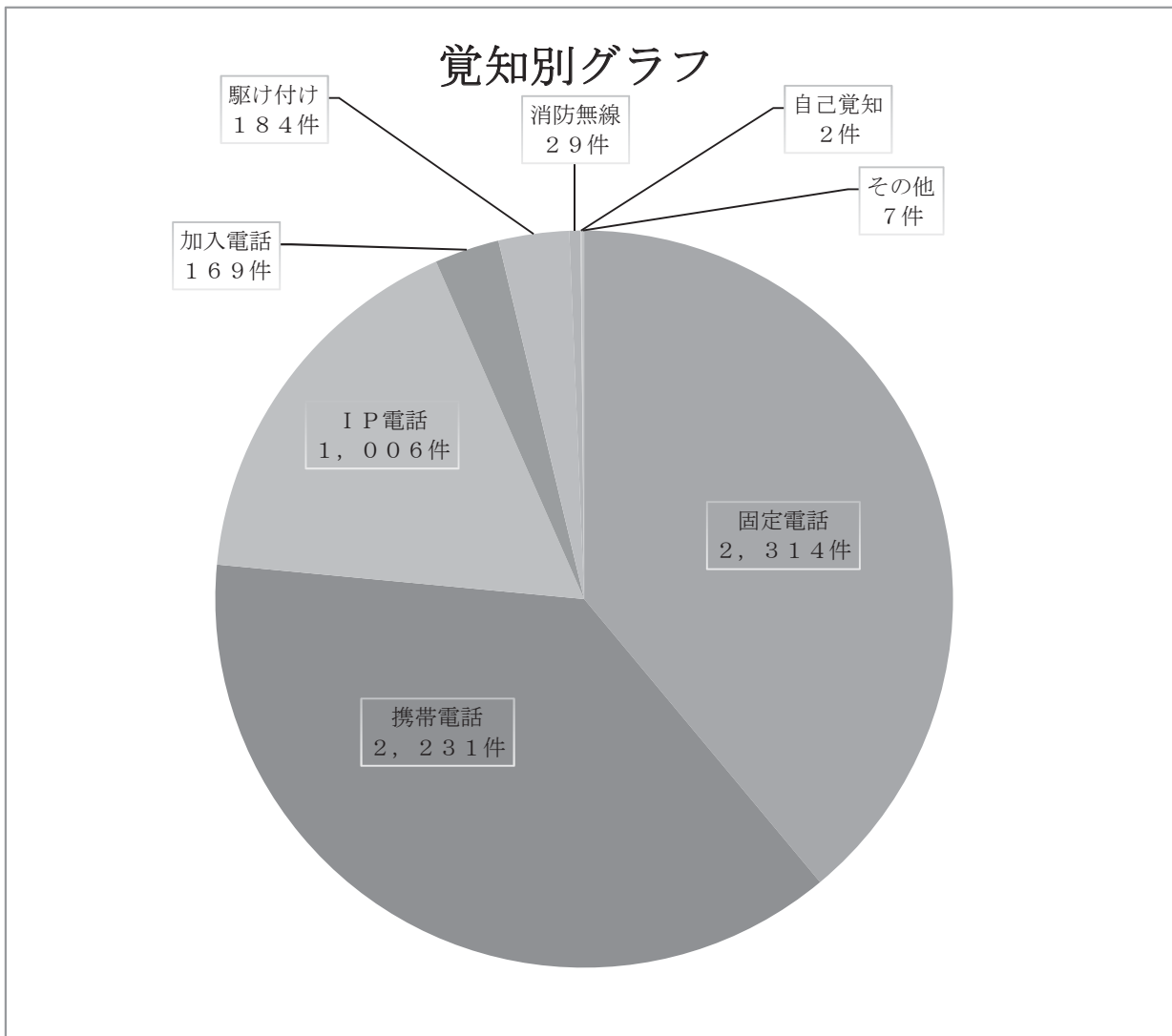
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計(件)
火災	5	3	1	2		3	5	2	3	2	1		27
救急	331	283	306	305	291	239	278	270	274	297	290	313	3,477
救助	3	3	4	6	2	2	2	3	1	3	2	3	34
その他	11	7	7	8	9	25	23	10	9	2	13	5	129
警戒													
問合せ	51	46	38	66	79	44	59	54	43	37	60	62	639
119テスト	50	98	118	106	20	108	59	69	113	107	122	129	1,099
いたずら等	41	52	45	51	75	50	67	47	51	31	36	41	587
合計	492	492	519	544	476	471	493	455	494	479	524	553	5,992



4 119番覚知別受信状況

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計 (件)
固定電話	185	196	192	217	182	196	174	169	196	195	189	223	2,314
携帯電話	174	183	191	201	185	166	201	181	186	169	200	194	2,231
IP電話	101	79	93	85	80	71	84	73	71	69	93	107	1,006
加入電話	14	13	19	15	12	17	17	12	10	12	17	11	169
駆け付け	11	11	16	16	12	12	9	12	24	29	21	11	184
消防無線	2	3	3	1		3	7	2	2	2	1	3	29
自己覚知					1						1		2
その他				2	1	2		1	1				7
合計	487	485	514	537	473	467	492	450	490	476	522	549	5,942

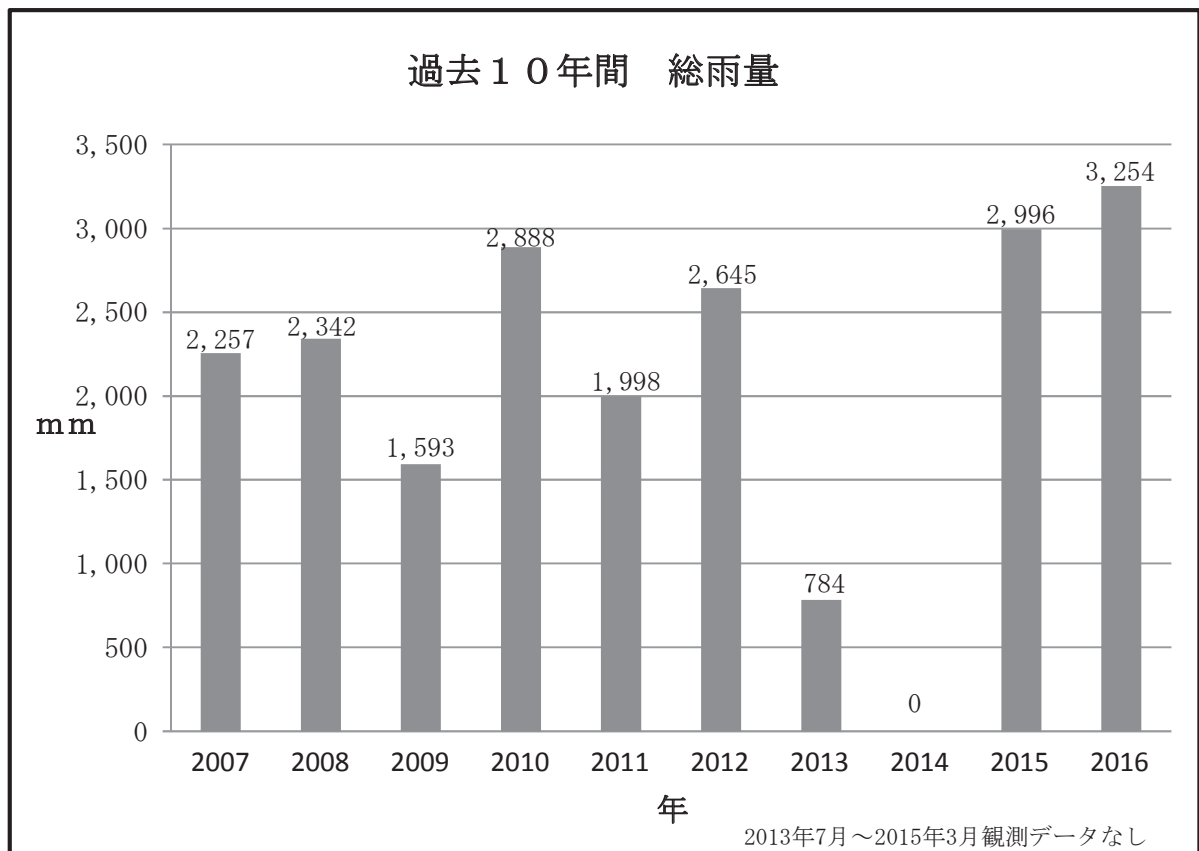


5 気象状況

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

種別 月	平均風速 (m/s)		瞬間最大風速 (m/s)		気 温 (°C)			湿度 (%)	降雨量
	風速	風向	風速	風向	平均	最高	最低	平均	(mm)
1	1.1	西北西	21.8	西北西	7.1	18.4	-7.1	88.7	130.5
2	1.5	西北西	21.9	南西	8.1	21.7	-0.7	77.2	103.5
3	1.6	西北西	16.8	北北西	11.7	24.3	-1.7	79.0	178.5
4	1.9	西北西	22.8	西南西	17.1	26.7	6.8	85.4	236.0
5	1.9	西北西	20.7	南西	20.8	30.2	10.0	83.0	376.0
6	1.7	西北西	21.4	南西	23.8	31.3	14.2	89.9	753.0
7	1.7	西北西	22.8	西南西	27.5	34.2	21.6	88.2	521.5
8	1.5	西北西	20.8	西北西	28.2	35.8	17.1	84.4	110.0
9	1.6	西北西	23.4	北北西	26.2	33.4	19.8	88.0	378.0
10	1.5	西北西	18.0	南西	22.2	32.3	11.8	89.1	271.5
11	1.2	西北西	14.0	西	14.9	24.8	1.9	86.0	128.0
12	1.5	西北西	18.5	西北西	10.7	21.1	-0.8	85.0	67.0

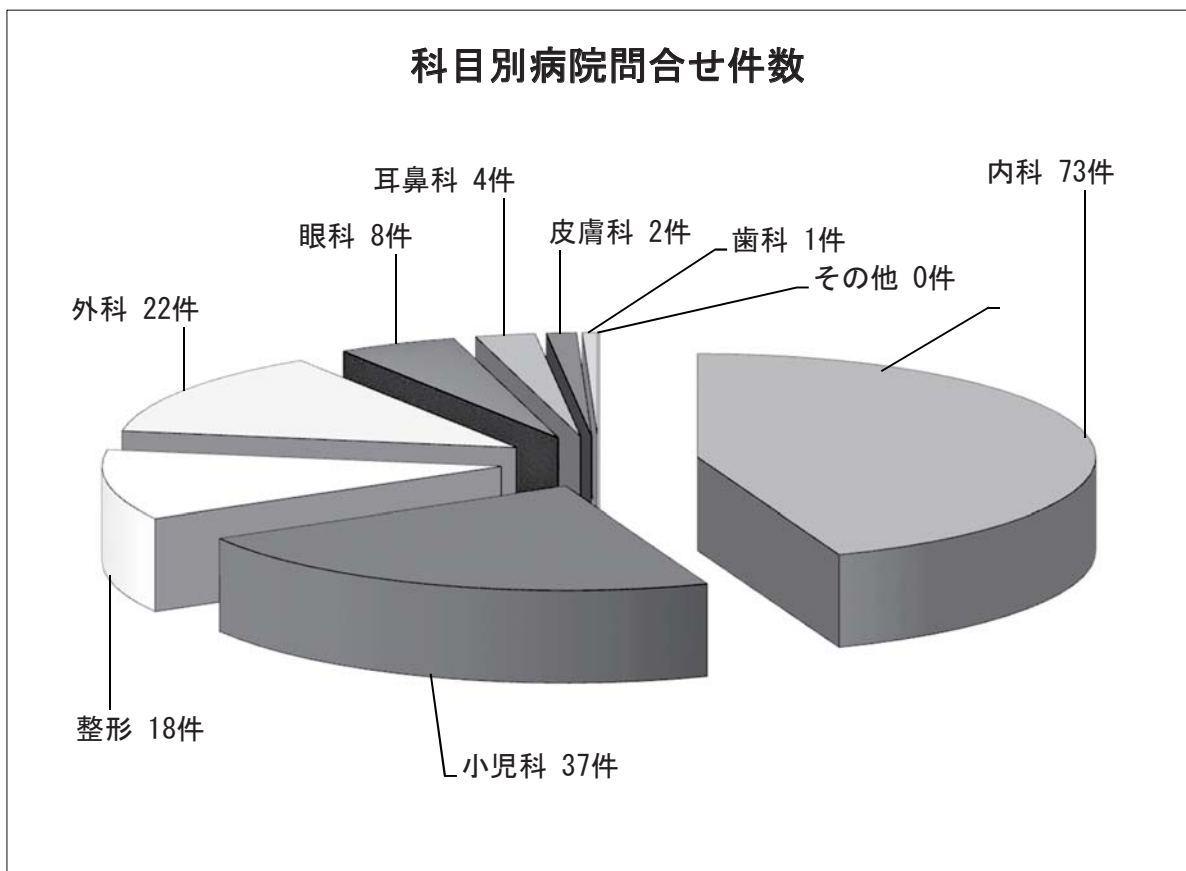
測定場所：消防本部屋上



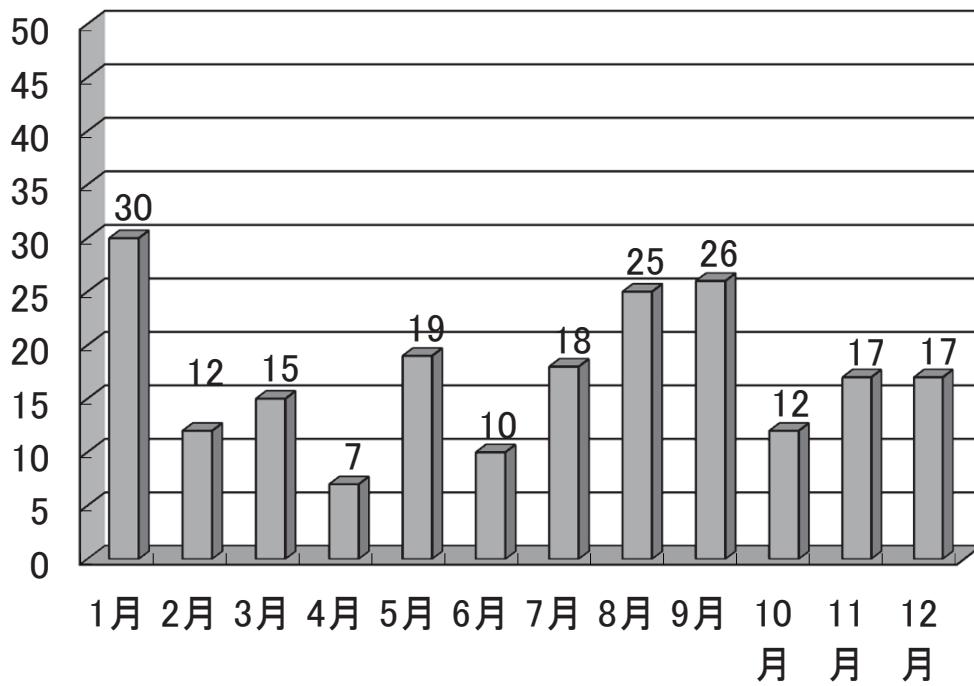
6 病院問合せ

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

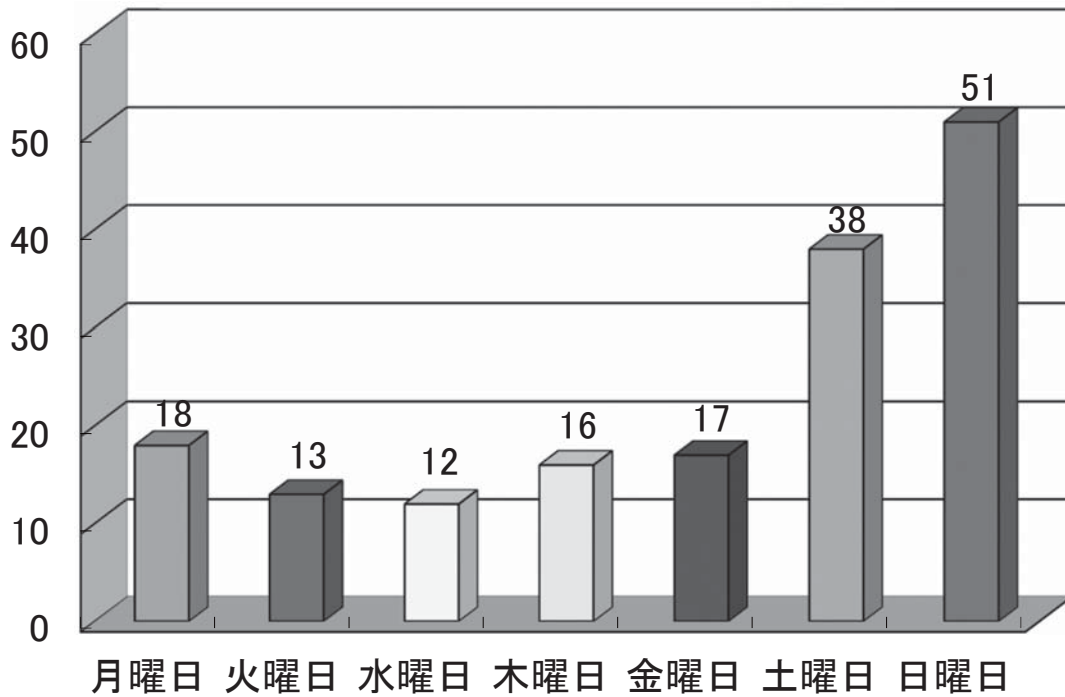
曜日 \ 科目	内科	小児科	整形	外科	眼科	耳鼻科	皮膚科	歯科	その他	合計
月曜日	12	1	1	3		1				18
火曜日	4	5		2	2					13
水曜日	4	1	2	3		2				12
木曜日	11	2	1	2						16
金曜日	4	6	3	2	1	1				17
土曜日	16	8	5	5	2		1	1		38
日曜日	22	14	6	5	3		1			51
合計	73	37	18	22	8	4	2	1		165



月別病院問合せ件数



曜日別病院問合せ件数



IX 付 録

1 組合設立までのあらまし

年	月	概	要
昭和43年	7月	一部事務組合による常備消防設置について、加治木町から提案されたが、時期尚早で立ち消えとなる	
昭和45年	5月	交通事故の増加により、加治木町、始良町、蒲生町及び溝辺町の町長間で常備消防設置について検討が始まる	
昭和45年	10月	常備消防設置に関する正式協議が開催される	
昭和45年	11月	常備消防設置準備会議が開催される	
昭和45年	12月	組合設立委員会発足	
昭和46年	1月	組合設立委員会において組合設立についての原案作成が完了する	
昭和46年	3月	蒲生町議会可決を最後に4町とも可決し、組合設立が正式に決定し、組合設立許可申請を鹿児島県に提出	
昭和46年	4月	組合設立について鹿児島県知事の許可を受ける	

2 消防本部・署の沿革（始良郡西部消防組合消防本部）

年	月	日	概	要
昭和46年	4月	1日	初代管理者兼初代消防長に曾木隆輝加治木町長就任 消防吏員5人採用	
昭和46年	5月	1日	加治木町役場に消防本部を置き消防吏員1人加治木町から出向	
昭和46年	8月	18日	日本消防協会から救急自動車の寄贈を受ける	
昭和46年	10月	1日	事務吏員1人始良町から出向、消防吏員32人採用	
昭和47年	2月	29日	消防無線基地局1、移動局3を設置	
昭和47年	3月	23日	ジープ型消防ポンプ自動車3台を購入	
昭和47年	4月	1日	消防本部、消防署設置の政令指定を受ける 第2代消防長に下猶篤男就任 仮設の本部、署1、分遣所2、消防ポンプ車3台、救急車1台にて 消防業務の実働を始める 消防吏員8人採用、1人加治木町から出向	
昭和47年	4月	18日	指令車購入（救急車の兼用可）	
昭和47年	5月	31日	蒲生分遣所庁舎完成	
昭和47年	6月	20日	加治木町大英建設から救急車（トヨタハイエース）1台の寄贈を受ける	
昭和47年	7月	12日	消防無線移動局3局増設	
昭和47年	8月	10日	消防本部・消防署庁舎落成	
昭和47年	9月	15日	溝辺分遣所庁舎落成	

昭和47年12月18日	水槽付消防ポンプ車（いすゞ・ガソリン車）1台購入し本署に配置 事務吏員女子1人採用
昭和48年 2月 1日	生命保険協会から救急車1台寄贈を受ける
昭和48年 3月 9日	消防吏員8人採用
昭和48年 4月 1日	消防無線移動局（携帯用）3局購入
昭和48年 6月25日	日本道路公団から救急車（消防無線付）2台寄贈を受ける
昭和48年12月18日	消防無線移動局2局購入
昭和48年12月26日	水槽付消防ポンプ車1台購入し本署に配置する
昭和49年 3月19日	消防無線基地局（蒲生・溝辺分遣所）2局増設
昭和49年 9月 2日	消防無線移動局（携帯用）4局購入
昭和49年11月10日	初代管理者曾木隆輝加治木町長退任
昭和49年12月 9日	第2代管理者に東國男加治木町長就任
昭和49年12月11日	第2代消防長下猶篤男退任
昭和49年12月31日	第3代消防長に坂元満男消防長就任
昭和50年 1月 1日	日本消防協会から広報車1台寄贈を受ける
昭和52年 7月 5日	第3代消防長坂元満男退任
昭和53年 3月31日	第4代消防長に右田光男就任
昭和53年 4月 1日	消防吏員10人採用
昭和53年10月 1日	消防吏員9人採用 溝辺分遣所救急業務開始（救急車1台、隊員6人配置）
昭和54年 4月16日	会計事務職員1人採用
昭和55年 3月 1日	小型ポンプ付積載車1台購入し本署に配置する
昭和55年 3月31日	消防無線移動局・携帯局各1台購入
昭和55年11月26日	スーパータイヨーから救急車1台の寄贈を受け本署に配置する
昭和56年 3月20日	小型ポンプ付積載車1台購入し蒲生分遣所に配置する
昭和56年 6月 9日	救助用訓練塔（7m）本署に設置
昭和56年 7月 9日	消防無線携帯局1局購入し蒲生分遣所に配備する
昭和56年12月28日	小型ポンプ付積載車1台購入し溝辺分遣所に配置する
昭和57年10月 1日	蒲生分遣所救急業務開始（救急車1台、隊員6人配置）
昭和57年12月 3日	消防無線移動局2局増設し消防本部及び本署に配備する
昭和57年12月 6日	日本自動車工業会から救急車1台の寄贈を受け本署に配置する
昭和58年 1月25日	水槽付消防ポンプ車1台購入し蒲生分遣所に配置する
昭和58年 7月31日	第4代消防長右田光男退任
昭和58年 8月 1日	第5代消防長に村岡創造就任
昭和58年11月29日	スーパータイヨーから救急車1台の寄贈を受け本署に配置する
昭和58年12月27日	水槽付消防ポンプ車1台購入し溝辺分遣所に配置する
昭和59年 2月20日	消防無線携帯局3局増設し本署及び蒲生分遣所に配備する
昭和59年12月 6日	徳重ガラス店から救急車1台の寄贈を受け蒲生分遣所に配置する

昭和60年	2月26日	竹下喜久子氏から救急車1台の寄贈を受け本署に配置する
昭和60年	3月1日	救助用訓練塔溝辺分遣所に設置
昭和60年	3月18日	救助工作車1台を購入し本署に配置する
昭和60年	3月30日	消防無線携帯局2局増設し本署に配備する
昭和60年	5月20日	鹿児島県安全運転管理協議会より優良事業所表彰を受ける
昭和61年	4月28日	山下為美氏から救急車1台の寄贈を受け本署に配置する
昭和61年	6月1日	消防吏員1人採用(中途退職補充)
昭和61年	7月18日	始良郡西部地区危険物安全協会設立
昭和61年	12月9日	第2代管理者東國男加治木町長退任
昭和61年	12月15日	第3代管理者に西野繁始良町長就任
昭和61年	12月31日	第5代消防長村岡創造退任(始良町へ転出)
昭和62年	1月1日	第6代消防長に木場政昭就任
昭和62年	3月31日	第6代消防長木場政昭退任
		消防無線携帯局2局増設し蒲生分遣所及び溝辺分遣所に配備する
昭和62年	4月1日	第7代消防長に迫屋清治就任
		消防吏員2人採用(退職補充)
昭和63年	3月8日	水槽付消防ポンプ車1台購入し本署に配置する
		消防無線固定局1局・基地局1局予備を増設し本署に配備する
昭和63年	3月28日	消防無線携帯局2局更新し本署及び溝辺分遣所に配備する
昭和63年	7月20日	始良郡西部地区防火管理者等協議会設立
平成元年	3月23日	消防ポンプ車1台購入し本署に配置する
平成元年	3月31日	消防無線移動局2局(10w)更新し蒲生分遣所及び溝辺分遣所の小
平成元年	3月23日	型ポンプ付積載車に配備する
		蒲生分遣所救助用訓練塔及び消防用ホース乾燥塔完成(更新)
平成元年	4月1日	消防吏員1人採用(退職補充)
平成2年	2月1日	川田スミ氏からレスキューツール(救助資機材)1式寄贈を受け救
		助工作車に配備する
平成2年	3月7日	小型ポンプ付積載車1台を購入し本署に配置する
平成2年	3月31日	第7代消防長迫屋清治退任
平成2年	4月1日	第8代消防長に雨乞信就任
		消防吏員1人採用(退職補充)
平成3年	1月22日	第3代管理者西野繁始良町長退任
平成3年	1月31日	第4代管理者に櫛山和實始良町長就任
平成3年	4月1日	消防無線移動局2局更新し蒲生分遣所及び溝辺分遣所の水槽付消
		防ポンプ車に配備する
平成3年	5月1日	本署救助用訓練塔(更新)完成
平成3年	11月13日	始良郡西部消防組合創立20周年記念式典
平成4年	1月10日	小型ポンプ付積載車1台を更新し溝辺分遣所に配置する

平成	4年	3月30日	溝辺分遣所消防用ホース乾燥塔完成（更新）
平成	4年	4月 1日	消防吏員1人採用（退職補充） 鹿児島県消防相互応援協定覚書締結
平成	4年	8月28日	組合規約第10条関係変更届出
平成	4年12月	25日	消防職員定数条例改正（職員定数81人）
平成	5年	1月20日	溝辺分遣所救助用訓練塔完成（更新）
平成	5年	2月 3日	小型ポンプ付積載車1台を更新し蒲生分遣所に配置する
平成	5年	2月25日	日本自動車工業会から救急車1台の寄贈を受け本署に配置する
平成	5年	4月 1日	消防吏員5人採用（退職補充1人、新規採用4人）
平成	5年	5月26日	鹿児島郡吉田町から消防組合加入の要望書が提出される
平成	5年	6月 5日	消防無線移動局2局更新し蒲生分遣所及び溝辺分遣所に配備する
平成	5年	8月23日	日本消防協会から指令車1台の寄贈を受け消防本部警防課に配置する
平成	5年	9月 7日	消防組合臨時議会（鹿児島郡吉田町の消防組合加入について議決）
平成	5年10月	18日	消防職員定数条例改正（職員定数107人）
平成	5年10月	25日	鹿児島郡吉田町の消防組合加入に関する協議書覚書調印
平成	6年	3月 1日	消防無線移動局2局更新し本署に配備する
平成	6年	3月18日	広報車1台更新し消防本部総務課に配置する
平成	6年	4月 1日	鹿児島県知事から消防組合規約変更許可（鹿児島郡吉田町の消防組合加入） 消防吏員24人採用（鹿児島郡吉田町加入による増員20人、条例改正による増員4人） 水槽付消防ポンプ車1台、小型ポンプ付積載車1台、救急車1台、消防無線基地局1局、移動局3局、携帯局4局購入し吉田分遣所に配備する 吉田分遣所落成式典
平成	6年	9月29日	救急車1台を更新し蒲生分遣所に配置する
平成	6年	9月30日	吉田分遣所消防業務開始（消防吏員18人配置）
平成	6年10月	1日	本署消防用ホース乾燥塔完成（更新）
平成	6年12月	26日	第4代管理者櫛山和實始良町長再任
平成	7年	1月27日	吉田分遣所ロープ渡過施設完成
平成	7年	3月29日	消防吏員3人採用（退職補充1人、条例改正による増員2人）
平成	7年	4月 1日	小型動力ポンプ1台を更新し溝辺分遣所に配置する
平成	7年	6月22日	救急車1台、消防無線移動局1局更新し溝辺分遣所に配置する
平成	7年	7月17日	消防無線携帯局2局更新し本署及び蒲生分遣所に配置する
平成	7年	8月 8日	消防無線基地局1局更新し蒲生分遣所に配置する
平成	7年12月	22日	消防無線基地局1局更新し溝辺分遣所に配置する
平成	8年	2月 6日	消防吏員2人採用（退職補充2人）

平成 8年 4月 1日	消防職員定数条例改正（職員定数118人）
平成 8年 8月 5日	消防無線携帯局3局更新し本署2局及び蒲生分遣所1局配置する
平成 8年 8月 8日	水槽付消防ポンプ自動車1台を更新し蒲生分遣所に配置する
平成 8年11月25日	消防無線基地局1局更新し本署に配置する 第8代消防長雨乞信退任
平成 9年 3月31日	第9代消防長に猶木龍美就任
平成 9年 4月 1日	消防吏員12人採用（退職補充1人、条例改正による増員11人） 消防吏員1人中途退職
	水槽付消防ポンプ自動車1台を更新し溝辺分遣所に配置する
平成 9年11月19日	小型ポンプ付積載車1台を購入し始良分遣所に配置する
平成10年 3月23日	消防無線携帯局3局更新し本署2局及び溝辺分遣所1局配置する
平成10年 3月27日	消防無線設備を始良分遣所に配備する（受信機1台、携帯局2局） 始良分遣所消防業務開始（消防吏員18人配置）
平成10年 4月 1日	消防吏員3人採用（退職補充3人） 救急車1台を更新し中央消防署に配置する
平成10年10月13日	第4代管理者櫛山和實始良町長退任
平成11年 1月22日	第5代管理者に福元久夫始良町長就任
平成11年 1月29日	日本消防協会から救急車1台寄贈を受け始良分遣所に配置する
平成11年 3月30日	消防緊急通信指令施設運用開始
平成11年 4月 1日	水槽付消防ポンプ自動車1台を更新し始良分遣所に配置する
平成11年11月15日	水槽付消防ポンプ自動車1台を更新し中央消防署に配置する
平成11年11月16日	第9代消防長猶木龍美退任
平成12年 3月31日	第10代消防長に森田峯一消防長就任
平成12年 4月 1日	訓練指導車1台を更新し消防本部警防課に配置する
平成12年10月30日	水槽付消防ポンプ自動車1台を更新し中央消防署に配置する
平成13年 2月15日	高規格救急車を1台購入し中央消防署に配置する
平成13年 2月16日	救急救命士による高規格救急車運用開始
平成13年 4月 1日	蒲生分遣所新築移転し消防業務を開始 救助工作車1台、小型ポンプ付積載車1台を更新し中央消防署に配
平成13年 7月19日	置する 加治木ライオンズクラブから消防用ホース5本寄贈を受ける
平成13年 8月16日	溝辺分遣所新築移転し消防業務を開始
平成14年 4月 1日	消防吏員3人採用（退職補充3人） 小型ポンプ付積載車1台を更新し溝辺分遣所に配置する
平成14年11月18日	消防吏員1人中途退職
平成14年12月31日	消防吏員2人採用（退職補充2人）
平成15年 4月 1日	消防吏員1人中途退職
平成16年 9月30日	鹿児島郡吉田町が消防組合を脱退し鹿児島市と合併（消防吏員10

平成16年11月 1日	人鹿児島市へ転出) 資機材搬送車1台購入し中央消防署に配置する
平成17年 3月25日	第10代消防長森田峯一退任
平成17年 3月31日	第11代消防長に垂内猛志就任
平成17年 4月 1日	集団災害用エアートント購入し中央消防署に配置する
平成17年 8月19日	消防緊急通信指令施設で携帯電話119番直接受信開始
平成17年10月19日	始良郡溝辺町が消防組合を脱退し国分市、隼人町、牧園町、霧島町、
平成17年11月 7日	横川町及び福山町と合併し霧島市となる(消防吏員14人霧島市へ 転出)
平成18年 3月 5日	第5代管理者福元久夫始良町長急逝
平成18年 3月17日	高規格対応型救急車1台を更新し蒲生分遣所に配置する
平成18年 5月 8日	第6代管理者に厚地和幸蒲生町長就任
平成18年 7月28日	査察車1台を更新し消防本部予防課に配置する
平成18年10月24日	小型ポンプ付積載車1台を更新し蒲生分遣所に配置する
平成19年 4月 1日	消防吏員3人採用(退職補充3人)
平成19年 9月30日	消防吏員1人中途退職
平成19年10月31日	第11代消防長垂内猛志退任(始良町へ転出)
平成19年11月 1日	第12代消防長に池山史郎就任
平成19年12月20日	指揮車1台更新し中央消防署に配置する
平成20年 4月 1日	消防吏員3人採用(退職補充3人)
平成21年 4月 1日	消防吏員3人採用(退職補充3人)
平成21年 9月30日	第12代消防長池山史郎退任(始良町へ転出)
平成21年10月 1日	第13代消防長に宮原千年就任
平成21年12月31日	消防吏員1人中途退職
平成22年 1月15日	高規格救急自動車1台更新し始良分遣所に配置する
平成22年 3月22日	始良郡西部消防組合解散(加治木町、始良町及び蒲生町の合併に伴 い解散)

3 九州地方（熊本・大分県）地震緊急消防援助隊活動記録

平成28年熊本地震

平成28年4月14日21時26分、熊本県熊本地方を震央とする、震源の深さ11Km、気象庁マグニチュード6.5の地震（前震）が発生し、熊本県益城町で震度7を観測した。

その28時間後の4月16日1時25分には、同じく熊本県熊本地方を震央とする震源の深さ12Km、マグニチュード7.3の地震（本震）が発生し、西原村と益城町で震度7を観測した。マグニチュード7.3は1995年（平成7年）に発生した兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）と同規模の大地震である。（気象庁発表）

また、地震の揺れや液状化現象、地盤沈下による土砂災害、河川の被災によって、熊本県から大分県の広大な範囲におよび被害が発生し、各種ライフラインも寸断された。平成29年3月14日現在（総務省消防庁情報）では、死者・重傷者・軽傷者合わせて2,957人の人的被害、全壊8,682棟・半壊33,660棟の住宅被害をはじめとする未曾有の被害をもたらした。

緊急消防援助隊の熊本県熊本地方における活動経過

平成29年4月14日に熊本県知事の要請を受けて、消防庁長官が九州地区の消防本部に緊急消防援助隊出動要請がなされ、当消防本部からは、第2次隊として4月16日から20日までの間後方支援1隊3名、第3次隊として20日から25日の間救急・後方支援各1隊6名の計9名が、陸路にて被災地の熊本県熊本地方へ出動しました。

活動内容としては、警戒巡視活動及び被害調査や災害現場への部隊移動、救急事案対応のための移動待機等を行いました。



後方支援隊出発前



後方支援隊出発式（2次隊）



後方支援隊打ち合わせ



被災状況



被災状況



被災状況



2次隊待機状況



3次隊出発式



宮原インター集結状況

消 防 年 報

編 集／始良市消防本部 消防総務課

発 行／始良市消防本部

〒899-5241 鹿児島県始良市加治木町木田2040番地1

TEL (0995) 63-3816

FAX (0995) 63-3291

印 刷／(有)森田印刷

